Canon

PUB. DIJ-282B

HDビデオカメラ

iVIS HF10
iVIS HF100

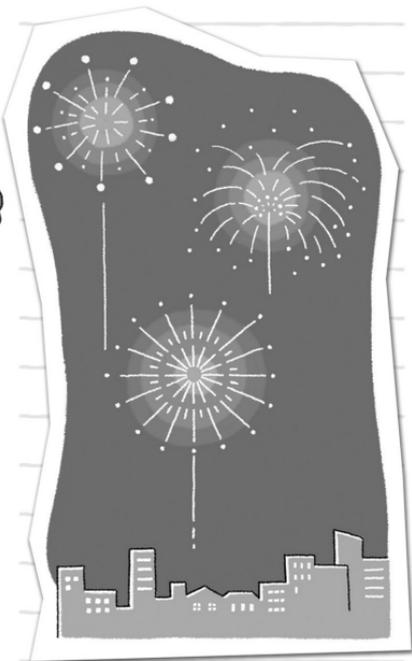
使用説明書

iVISを使って

楽しく作ろう!!
思い出ライブラリー

赤ちゃんが初めて歩いたときの感動。
一等賞をもらったうれしそうな笑顔。
ドーンと響く夏の夜の大輪。
心をくすぐる瞬間をiVISに収めましょう。

スペシャルシーンを撮る

夏の夜を彩るワンシーン。
夜空に咲く花火をキレイに
表現します。

テープとはココが違う！

メモリーは軽い!スゴい!!

16GBの内蔵メモリー*に、標準画質SPモードで約4時間45分撮影可能。買ったその日から、家族の笑顔が残せます。

*HF10の場合。HF100はSDカードが必要です。

写真 撮影中に一瞬を収める も撮れる……96

ビデオを撮りながら、同時に写真も撮影できる一台二役のビデオカメラです。

海外 世界の電圧/周波数に対応 でも安心……156

変換プラグがあれば、どこでも充電可能です! 一部の国ではテレビで見られます。

手ぶれ 光学式手ぶれ補正 も恐くない……72

感動的な映像もブレては台なし。家族の大切な映像を手ぶれから守ります。

映画風 シネマエフェクトを使う に撮る……49

旅先での印象的な場面。映画のようにしっとりとした雰囲気で撮影しましょう。

2 重ね撮りの心配がない

撮影した映像は、メモリーの空いているところに記録されますので、誤って重ね撮りして大切な記録を消してしまうおそれがありません。

3 一覧画面から一発再生……38

見たいシーンを探すとき、テープのように巻き戻し、早送りで頭出しする手間は一切不要。インデックス画面からパッと選んで一発再生です。

4 パソコンで保存や編集

ImageMixer 3では動画、DIGITAL VIDEO Solution Diskでは静止画のパソコンへの保存や管理などができます。詳しくは各ソフトウェアの説明書をご覧ください。

CONTENTS

もくじ

Chapter 3
写真

CONTENTS
もくじ

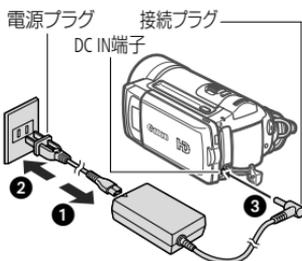
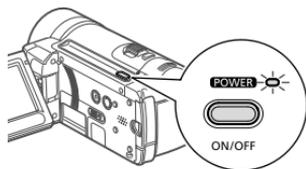
Chapter 4
保存

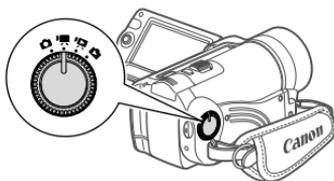
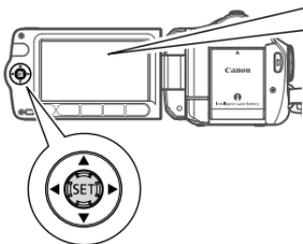
Chapter 5
ふろく

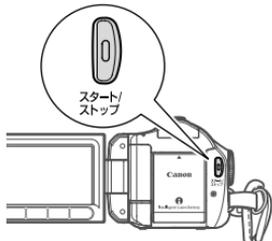
やりたいこと目次

さっそく撮ってみよう

箱から出して、今すぐ撮影してみたい----という方のために一通りの操作を説明します。まずはメモリー*に気楽に撮ってみましょう。

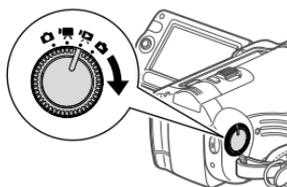
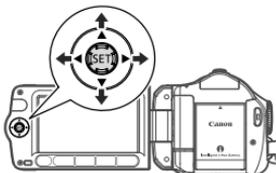
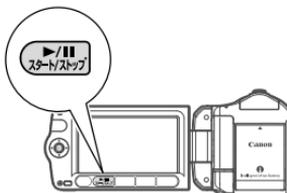
* HF100はSDカードが必要です。

時計を合わせる

❶ 上下に押して、年を設定する。
- 左右に押すと年、月、日、時刻を選択できる。

❷ 左右に押して OK を選ぶ→ SET を押す。

押す ▶ 撮影開始！

もう一度押すと撮影終了

映像を再生してみよう

電源を切らずにそのまま操作してください。

❶ 再生モードにする

❷ 見たいシーンを選ぶ

❸ 押す ▶ 再生開始！

ハイビジョンを楽しもう

本機は高精細なハイビジョン映像を撮影することができます。写真は、説明のためのイメージ写真です。

ハイビジョンは美しい

ハイビジョン画質　1920×1080画素*1

約6倍
全体画素数

約2倍
有効走査線数

1080本

髪の毛一本までクッキリと再現

標準画質（従来）　720×480画素

480本

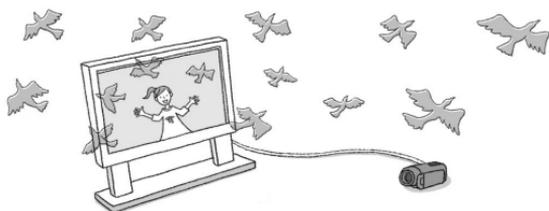
フルHD CMOSセンサーによって、フルハイビジョン（水平1920×垂直1080画素）で映像を読み出し、そのままの画素数で記録*1しますので、すみずみまで精細な美しさを再現します。

*1 最高画質のFXPモードの場合。他の画質では、水平1440×垂直1080画素にリサイズして記録します。豊富な情報量からのリサイズですので、高精細な映像を実現します。

メモリー記録なのでボディーが軽い！起動が速い！

撮影したハイビジョン映像は内蔵メモリー（HF10のみ）またはカードに記録されます（AVCHD規格*2で記録）。記録部に駆動モーターなどがないのでボディーはコンパクト。また、液晶画面を開くと約1秒でクイックスタートして、すぐ撮れます。

SD Memory Card
LOCK

*2 ACVHD規格とは
ハイビジョン信号を記録するための新規格で、映像はMPEG-4 AVC/H.264方式で圧縮し、音声はドルビーデジタル方式で記録します。

ハイビジョンテレビで再生

HDMI端子のあるハイビジョンテレビで見る　ハイビジョン画質

HDMIケーブル（別売）でつなぐだけ。もっとも美しく、カンタンにハイビジョン映像をお楽しみいただけます。

HDMIケーブルでラクラク接続

ハイビジョンテレビで見る　ハイビジョン画質

付属のD端子ケーブルとステレオビデオケーブルでつないでハイビジョン映像を再生できます。

HDMI端子がない
ハイビジョンテレビ

付属のD端子ケーブル

付属のステレオビデオケーブル

D端子ケーブルで映像、ステレオビデオケーブルで音声が出力されます。

従来型のテレビで見る　標準画質

付属のステレオビデオケーブルでつないで、標準画質で再生できます。

ハイビジョンに対応
していないテレビ

付属のステレオビデオケーブル

カードスロットのあるAVCHD規格対応の機器であれば、映像を記録したカードをカードスロットに入れて再生することもできます（📖 39）。

マークや記号、イラストはこう読む

この本の読みかた

探すための見出し

知りたい機能をすばやく探すための見出し。左ページに章タイトル、右ページには機能の名前を載せている。

本文中の表記

10 (10)	参照ページを示す。
参考 ▶▶	参考になるページなどを示す。
画面	「液晶画面」のこと。
カード	SDメモリーカード、SDHCメモリーカードのこと。
メモリー	「内蔵メモリー」または「カード」のこと。
ImageMixer 3	付属のソフトウェア「PIXELA ImageMixer 3 SE」のこと。

* 画面の写真はスチルカメラで撮影したものを使用しています。

** 画面は主にHF10の画面を使用しています。

ビデオと写真のどちらで使えるかを示すマーク

ビデオ

動画の撮影や再生で使える機能。

写 真

静止画の撮影や再生で使える機能。

ダイヤルの位置やボタンの状態を示すマーク

モードダイヤルの位置。この場合は 🎥 の位置に合わせる。ほかに ▶、📷、▶ がある。

かんたんボタンを押すたびに、**かんたん**（ボタンが点灯）または**応用**（消灯）に切り換わる。この場合は**応用**にする。

コラムのマーク

守ってほしいこと。

知っておいてほしいこと。

使う前に知っておいてください

かならず「ためし撮り」しましょう

大切な映像を撮るときは、必ず事前にためし撮りをして、正しく録画・録音されていることを確認してください。

記録内容の補償はできません

ビデオカメラ、カードなどの不具合で記録や再生ができない場合でも、記録内容の補償についてはご容赦ください。

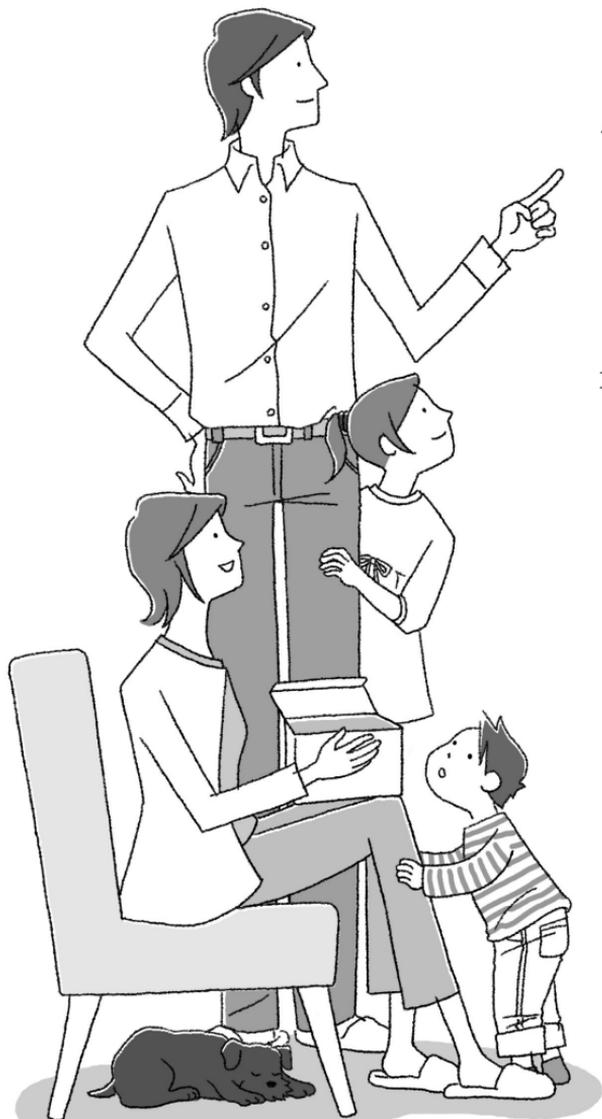
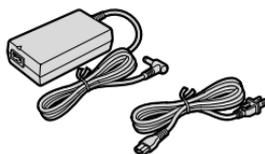
著作権に注意しましょう

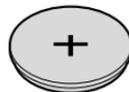
録画・録音したビデオは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

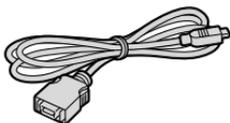
液晶画面について

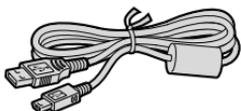
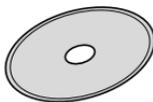
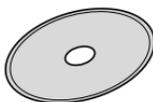
液晶画面は、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は記録されません。

そろっていますか？

本体以外の付属品がそろっているかチェックしましょう。

バッテリーパック BP-809

コンパクトパワーアダプター
CA-570と電源コード

リモコン（ワイヤレス
コントローラー）WL-D88

コイン型リチウム電池
CR2025（リモコン用）

リストストラップ
WS-30

D端子ケーブル
DTC-100/S

ステレオビデオケーブル
STV-250N

USBケーブル
IFC-400PCU

PIXELA（ピクセラ） ImageMixer（イメージミキサー） 3 SE Ver 1.0 *[1]
（動画の保存、管理、編集、再生用）

DIGITAL VIDEO Solution Disk *[2]
（静止画の保存、管理、印刷用）

iVIS HF10/HF100
使用説明書（本書）

PIXELA ImageMixer 3 SE
インストールガイド

DIGITAL VIDEO
Solution Disk
スタートガイド

操作早わかり
ガイド

*[1] PIXELA ImageMixer 3 SE取扱説明書がPDFデータとして入っています。

*[2] Digital Video Softwareの使用説明書がPDFデータとして入っています。

各部のなまえ

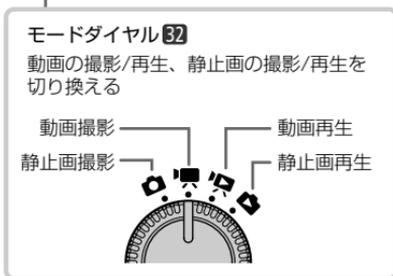
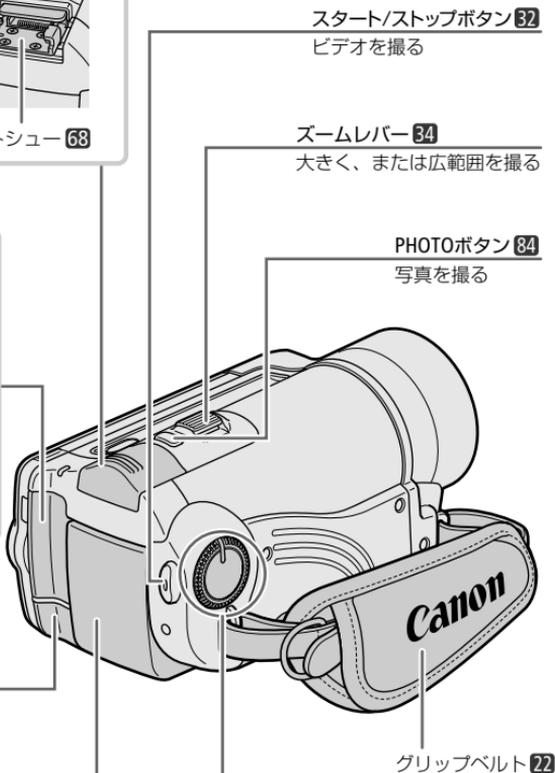
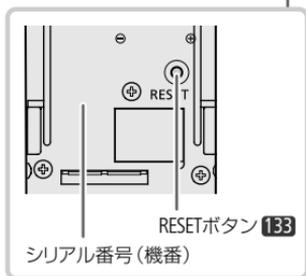
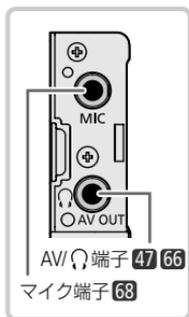
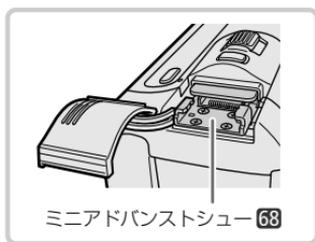
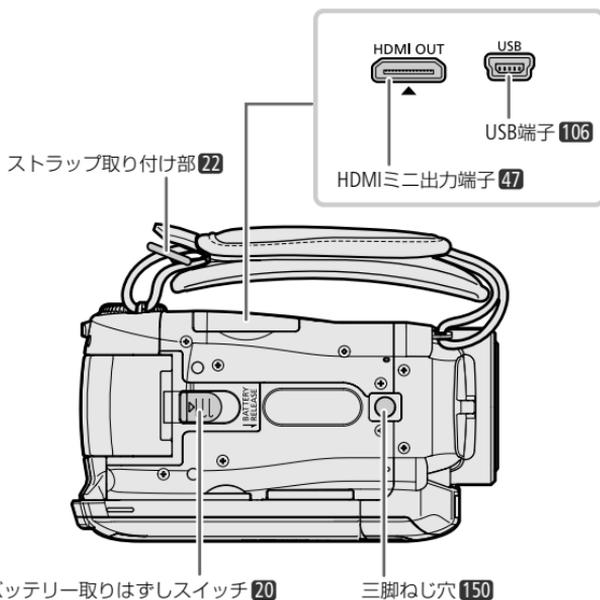
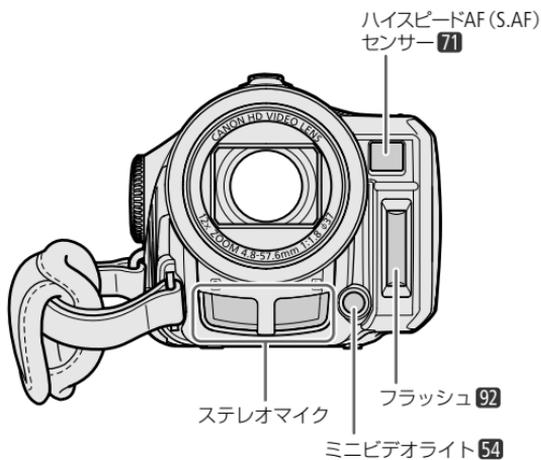
本文中に出てくる名称です。■内の数字は参照ページです。

スタート/ストップボタン 32
ビデオを撮る
ズームレバー 34
大きく、または広範囲を撮る
PHOTOボタン 84
写真を撮る
ミニアドバンストシュー 68
MIC
AV OUT
AV/ 端子 47 66
マイク端子 68
DC IN
DC IN端子 20
グリップベルト 22
Canon
RESET
RESETボタン 133
シリアル番号（機番）
モードダイヤル 32
動画の撮影/再生、静止画の撮影/再生を切り換える
動画撮影
静止画撮影
動画再生
静止画再生

ハイスピードAF（S.AF）センサー 71
CANON HD VIDEO LENS
12× ZOOM 4.8-57.6mm 1:1.8 ø37
ステレオマイク
フラッシュ 92
ミニビデオライト 54

HDMI OUT
USB
USB端子 106
HDMIミニ出力端子 47
ストラップ取り付け部 22
BATTERY RELEASE
バッテリー取りはずしスイッチ 20
三脚ねじ穴 150

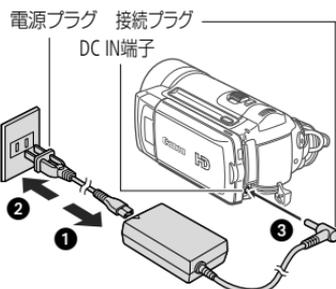
Chapter
1
準備する

Getting Started

バッテリーを充電する

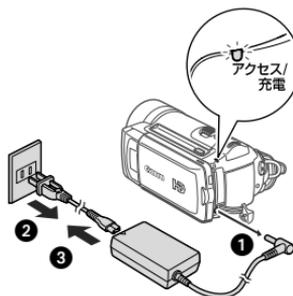
バッテリーを本体に取りつけ、家庭用コンセントから充電します。

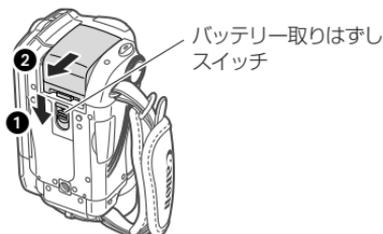
準備

1 バッテリーを取りつける

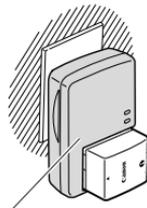
2 コンセントにつなぐ

3 充電ランプが点滅

* 充電ランプが他の光りかたのときは、「故障かな？」(📖 133)をご覧下さい。

4 点滅→点灯で充電おわり

バッテリーを取りはずすとき

バッテリー取りはずしスイッチをレンズ側に押して取りはずす。

- 電源プラグを抜き差しするときは、まず電源ボタンをOFFにし、電源ランプが消えていることを確認してください。撮影したデータが破損するおそれがあります。
- 10℃～30℃の場所で充電することをおすすめします。0℃未満、40℃以上の場所では充電できません。

MEMO

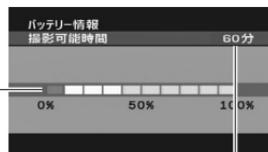
- バッテリー残量が気になるときは、電源プラグをコンセントにつないだままお使いください。
- バッテリーをフル充電したときの使用時間は166ページをご覧ください。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。
- 付属のバッテリーの充電時間は約155分です。なお、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- 別売のバッテリーチャージャーCG-800を使うと約105分で充電できます。詳しくはバッテリーチャージャーの使用説明書をご覧ください。
- バッテリーの取り扱いについては、151ページをご覧ください。

バッテリーチャージャー
CG-800

バッテリーの残量を確認するには

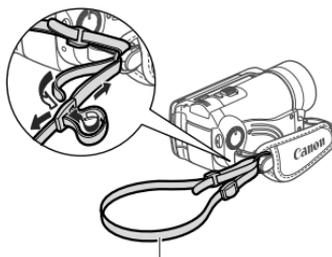
電源OFFのときにバッテリー情報ボタンを押すと、バッテリーの残量を確認できます。バッテリー情報画面は5秒間表示されて自動的に消えます。
バッテリーが消耗していると表示されないことがあります。

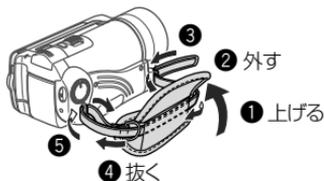
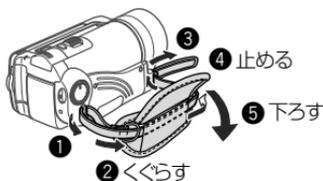
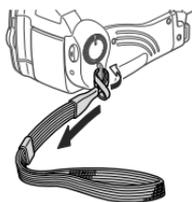
バッテリー情報画面

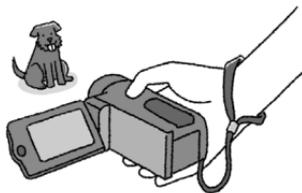
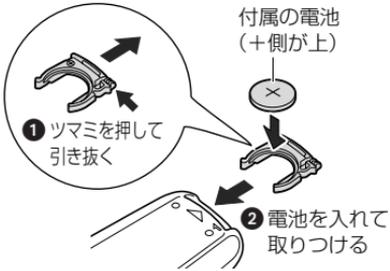
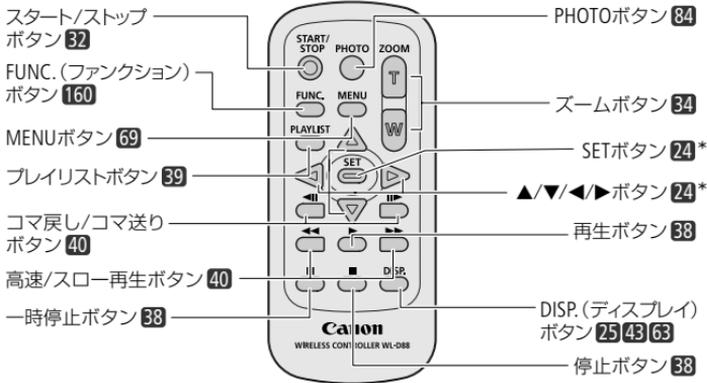
バッテリー残量の目安

撮影可能時間

付属品を準備する

グリップベルトやストラップの調整、リモコンの準備をしましょう。

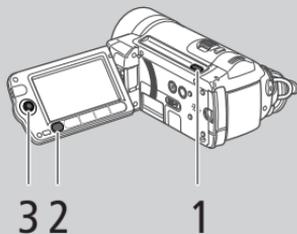
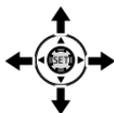
■ グリップベルトやショルダーストラップ（別売）を調整する

■ グリップベルトの取りはずし/取り付け

取り外すとき

取り付けるとき

■ リストストラップを取り付ける

- グリップベルトのストラップ取り付け部に取り付けることもできる。

低い位置から撮るとき（構えかた）

■ リモコンを準備する

* 本文中では、「ジョイスティック」という言葉で説明しています。

- リモコンの受光部に直射日光や照明などの強い光が当たっていると、正常に動作しないことがあります。
- リモコンで操作できないときは、メニューの「リモコンセンサー」を「入」にしてください（📖 76）。または電池を交換してください。

時計を合わせる

時刻は2カ所セットできます。海外旅行先の日時を設定しておくと、現地の日時で記録できます（□ 156）。

1 「ON」にする

はじめて使うとき

自動的に操作4の画面が表示されるので、❷〜❸の操作をして終了。

2 押す

3 地域を選ぶ

❶ ☰（メニュー）→「日時設定」を選ぶ→ SET を押す。

❷「エリア/サマータイム」を選ぶ→ SET を押す。

❸［トウキョウ］を確認する → SET を押す。

- 海外に住んでいるときは、左右に押して居住地域を選ぶ。

4 日時を設定する

❶ 上下に押して「日付/時刻」を選ぶ→ SET を押す。

❷ 上下に押して、年を設定する。

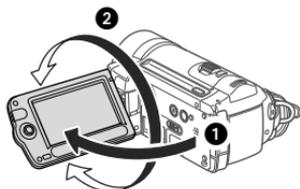
- ジョイスティックを左右に押すと年、月、日、時刻を選択できる。

❸ 左右に押して OK を選ぶ→ SET を押す。

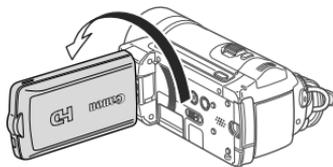
5 押す

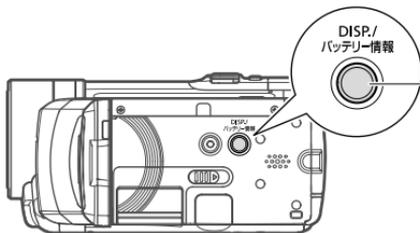
- 本機を約3ヶ月使わないと、内蔵の充電式電池が放電して、日時の設定が解除されることがあります。その場合は、充電してから設定し直してください（□ 152）。

液晶画面を調整する

位置を調節する

❶ 手前に90度引いて開ける。
❷ 回転させて見やすい位置にする。

自分自身を撮る

液晶画面を見ながら、リモコンを使って自分自身を撮影できます。
レンズと同じ方向を向くように回転させます。

画面の明るさを調節する

画面の明るさを2段階に切り換えられます。屋外撮影時、太陽光などで画面が見にくいときは明るくしてください。

2秒以上押す。
2秒以上押すごとに明るさが切り換わる。

- 画面の明るさを調整しても、記録される映像の明るさには影響しません。
- 画面を明るくすると、バッテリーの使用時間が短くなります。

SDメモリーカードを使う

本機は動画や静止画をSDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードに記録できます。

■ 使えるカード

容量やSDスピードクラスによって、使用できる機能が異なります。

	容量	SDスピードクラス	動画記録	静止画記録
SDメモリーカード	64MB以下	未対応	×	○
	128MB以上	未対応	○*1*2	
		CLASS 2	○*1	
		CLASS 4 以上	○	
SDHCメモリーカード	2GB超	CLASS 2	○*1	
		CLASS 4 以上	○	

○：使用できる ／ ×：使用できない

*1 最高画質（FXP）では使用できない。

*2 動画記録できないことがある。

■ ビデオ撮影に使用可能なカード

下記メーカー製のカード（SDメモリーカード、SDHCメモリーカード）について、ビデオ撮影での動作を確認しています（2008年1月現在）。
SDスピードクラス4以上のカードの使用をおすすめします。

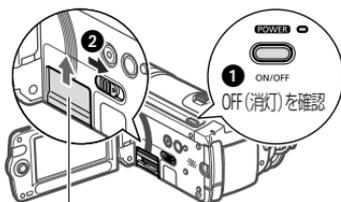
- Panasonic
- TOSHIBA
- SanDisk

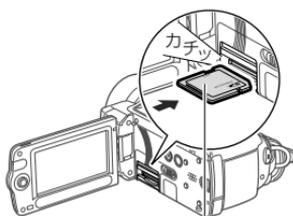
SDスピードクラスとは？

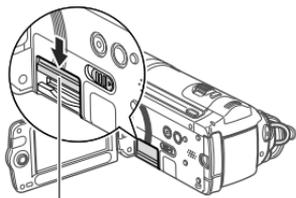
SDメモリーカードやSDHCメモリーカードのデータ記録時の最低速度を保証する規格として定められた基準です。メモリーカードを購入するときは、スピードクラスのロゴを確認してください。

■ カードを入れる

カードをはじめて使用するときは、まず初期化してください(📖 29)。

1 カードカバーを開ける

カードカバーが上がる

2 カードをまっすぐ入れる

ラベル面を上にする

3 カードカバーを閉じる

カードカバーを下げる

- カードが正しく入っていない状態で無理に閉めない。

誤ってデータを消さないために

誤消去防止ツマミ

カードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にすると、データを保護できる。

ご注意

- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。正しい向きで入れてください。

MEMO

カードを出すとき

カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。

記録メモリーを準備する

動画や静止画を内蔵メモリー*かカードに記録できます。

* HF10のときのみ

準備

■ 記録メモリーを選ぶ HF10

動画や静止画の記録先を選択します。

■ 初期化する

カードを初めて使用するときや、内蔵メモリー*やカードに記録した動画/静止画をすべて消すときに初期化します。初期化には「初期化」と「完全初期化」があり、データを完全に抹消する必要があるときは「完全初期化」を選びます。また、記録/消去を繰り返すと動画/静止画が正しく記録できなくなることがあります。この場合は、メモリーを初期化してすべての情報を削除することで回復します。

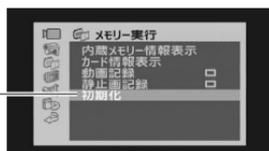
* ご購入時、内蔵メモリーは初期化されています（HF10の場合）。

モードダイヤル　かんたん　かんたん 応用

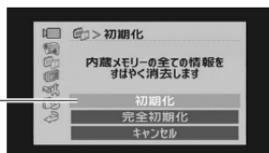
FUNC.

1 押す

2 初期化を選ぶ

❶ (メニュー)→「メモリー実行」→「初期化」を選ぶ→ SET を押す。

❷「内蔵メモリー」または「カード」を選ぶ→ SET を押す。

❸「初期化」または「完全初期化」を選ぶ→ SET を押す。

❹「はい」を選ぶ→ SET を押す。

完全初期化を中止するとき

SET（中止）を押す。内蔵メモリーやカードはそのまま使用できるが、データはすべて消える。

❺ SET を押す。

メモリー実行
内蔵メモリー情報表示
カード情報表示
動画記録
静止画記録
初期化

> 初期化
16. 4 GB
593MB 使用
8m　22
内蔵メモリー
カード
キャンセル

> 初期化
内蔵メモリーの全ての情報を
すばやく消去します
初期化
完全初期化
キャンセル

FUNC.

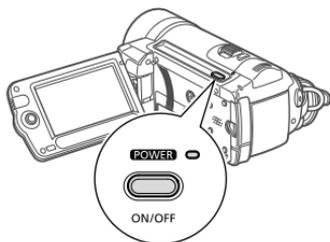
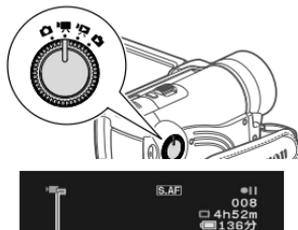
3 押す

- 初期化すると、プロテクト設定した静止画を含め、すべての情報が消え、元に戻せません。必ず記録した動画/静止画をパソコンやDVDライター（別売）などにバックアップしてから初期化してください。
- 初期化中は電源を取りはずさないでください。

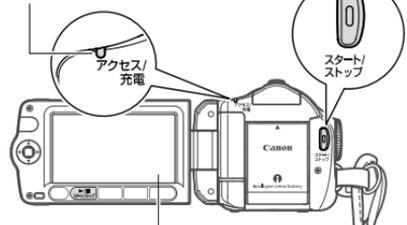
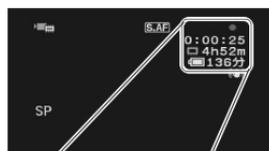
Chapter
2
ビデオ

Recording and Playing Back Movies

ビデオを撮る 基本的な動画の撮りかたです。

1 ONにする

2 🎥にする

🎥 / 🎥 が表示される

3 押す ▶ 撮影開始！

アクセスランプ

▶/II スタート/ストップ を押しても撮影をはじめられる。

撮影を終えるとき

もう一度、[スタート／ストップ]を押す。

電源を切るとき

1. アクセスランプが消えていることを確認
2. 電源ボタンを押す
3. 液晶画面を垂直にしてから閉じる

バッテリー残量について

バッテリーで撮影できる残り時間です。 ▭ が赤く表示されたら、バッテリーが消耗しています。充電したバッテリーと交換してください。

かんたんモード/応用モード（かんたんボタン）

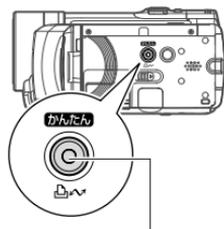
とにかく簡単にビデオや写真を撮影するための「かんたんモード」と、いろんな調整や設定を変更できる「応用モード」を切り換えられます。

かんたんモード

難しい設定をしないで、すべての調整をカメラまかせで撮影したいときは、かんたんボタンを押して「かんたんモード」（ボタンが青く点灯）にします。
次のボタンや機能だけが動作するので、知らないうちに何かのボタンを押してしまい、元に戻せなくなる心配がありません。

- モードダイヤル
- スタート/ストップボタン
- ズームレバー
- 液晶画面の開閉によるクイックスタート

応用モード

撮影シーンに合わせて個別に調整したり、メニューの設定を変更したいときなどは、かんたんボタンを押して「応用モード」（ボタンが消灯）にします。

かんたんボタン

かんたんモードに切り換えても設定が変わらない機能

- 録画モード（動画）
- サイズ/画質（静止画）
- オートスローシャッター
- 「システム設定」メニューの全項目

ご注意

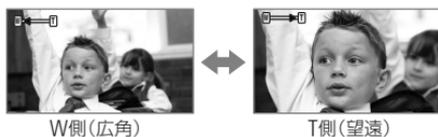
- アクセスランプが点滅しているときは、撮影した動画をメモリーに書き込んでいます。このときは、つぎのことを必ず守ってください。動画のデータを破損するおそれがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  - モードダイヤルを操作しない。

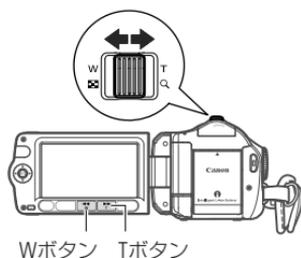
MEMO

- バッテリーを使っているときに、約5分間何も操作しないと、節電のため電源が切れます（ 📖 76）。このときは電源を入れ直してください。
- 液晶画面に光が当たって映像がよく見えないときは、画面の明るさを調節してください。（ 📖 25）

拡大して撮る ズーム

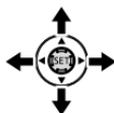
ズームレバーをT側（望遠）に押すと12倍まで拡大して撮影できます（光学ズーム）。W側（広角）に押すと、元の大きさに戻ります。デジタルズーム*を使うと、さらに200倍まで拡大することができます（ □ 71）。

* デジタルズームは静止画撮影時には使えません。

W側（広角）

T側（望遠）

- ズーム撮影をするときは被写体から1m以上離れてください。
- ズームレバーをW側に押して最も広角にすると約1cmまで近づいて撮影できます。
- ズームレバーを浅く押すとゆっくりとズームし、深く押すと速くズームします（可変速）。メニューでズームスピードを一定にすることもできます（ □ 70）。スピードは1（遅い）～3（速い）から選びます。
- ズームスピードを「可変速」に設定した場合、リモコンや液晶画面のズームボタンでズーム操作するとズームスピード3（速い）になります。
- 撮影一時停止状態でのズームは、撮影中に比べスピードが速くなります（ただし、ズームスピードを「可変速」に設定したときのみ）。

画質を選ぶ　録画モード

録画モードにはFXP、XP+、SP、LPの4種類があります。高画質で撮影したいときはFXPまたはXP+、長時間撮影したいときはLPをお選びください。

1 押す

2 録画モードを選ぶ

❶ 上下に押して**SP**を選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

3 押す

MEMO　**画質（録画モード）ごとの録画時間**

	FXP*	XP+	SP	LP
HF10 内蔵メモリー	約2時間5分	約2時間50分	約4時間45分	約6時間5分
2GBカード	約15分	約20分	約35分	約45分
4GBカード	約30分	約40分	約1時間10分	約1時間30分
8GBカード	約1時間	約1時間25分	約2時間20分	約3時間

* 水平1920×垂直1080画素で記録します。他の録画モードは、水平1440×垂直1080画素で記録します。

- 被写体に合わせて自動で画質を調整するVBR（Variable Bit Rate）方式を採用しているため、録画時間は撮影するシーンによって変化します。
- かんたんモードに切り換えても設定は変わりません。

撮影チャンスを逃さない

クイックスタート

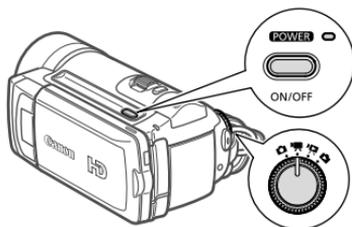
液晶画面を閉じると、省エネ状態*1でスタンバイします。撮りたいときに液晶画面を開けば、約1秒*2で撮影可能状態に戻りますので、大切なシーンを逃すことはありません。

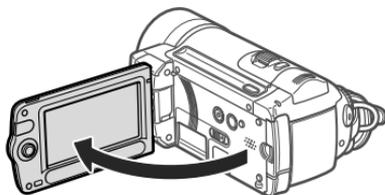
*1 バッテリーの消耗は撮影時の約半分となります。

*2 撮影可能状態になるまでの時間は、状況によって異なります。

モードダイヤル　かんたん　かんたん 応用

1. スタンバイする

モードダイヤルが 🎥 または 📷 のとき、液晶画面を閉じると電源ランプが橙色に点灯して、スタンバイ状態になる。

2. クイックスタートする

液晶画面を開くと電源ランプが緑色に点灯して、撮影できる状態になる。

- **スタンバイ中は電源を取りはずさないでください。**

- 動画/静止画の記録中やメニューの表示中、カードカバーがあいているときなどスタンバイ状態にならない場合があります。かならず電源ランプが橙色に変わるのを確認してください。
- スタンバイ後、10分経過すると電源が切れます。電源が切れるまでの時間は、メニューの「クイックスタート」で選択できます（📖 76）。なお、「パワーセーブ」（📖 76）は、スタンバイしているときは無効となります。
- 電源が切れたときは、電源を入れ直してください。
- メニューの「クイックスタート」を「切」にして、クイックスタートが機能しなくすることもできます。

いま撮ったシーンを確認する

直前に撮ったシーンを再生して、録画状態をチェックすることができます。この場合、音声は聞こえません。

1 SET を押す

- 操作案内が出る。 が表示されないときは、ジョイスティックを下に押す。

2 左（ ）に押す

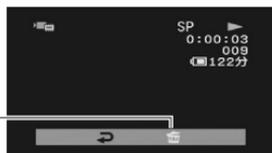
■ いま撮ったシーンを消す

1 SET を押す

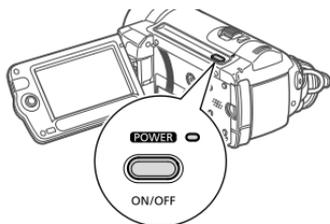
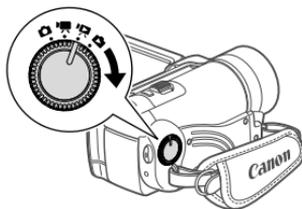
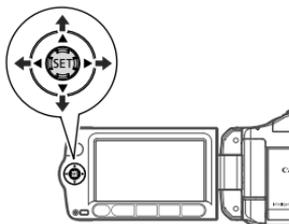
- 操作案内が出る。

2 シーンを消す

1. 左（ ）に押す。
2. 右に押して を選ぶ → SET を押す。
3. 右に押して「はい」を選ぶ→ SET を押す。

SP
0:00:03
009
122分

- 消去中は一切の操作をしないでください。
- モードダイヤルを動かしたり、電源を切ったりした場合は、直前のシーンは消せません。

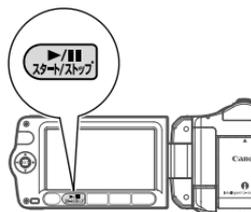
ビデオを見る 撮った動画を液晶画面で見ます。

1 ONにする

2 にする

3 見たいシーンを選ぶ

ジョイスティックで見たいシーンを選ぶ

内蔵メモリー*/カードのオリジナル/プレイリストを切り換える（*HF10のときのみ）

撮影日時　シーン数

4 押す ▶ 再生開始！

- SET を押しても再生をはじめられる。

- もう一度押すと、再生一時停止となる。
- 選んだシーンの再生が終わると、つぎのシーンが再生される。
- 再生を終えるときは ■ 逆光補正 を押す。

音の大きさを変える

1. ジョイスティックの SET を押す。
2. 操作案内が出たら、上下に押して調整する。

■ 内蔵メモリー*/カードのオリジナル/プレイリストを切り換える

インデックス画面で、オリジナル（内蔵メモリー*）、オリジナル（カード）、プレイリスト（内蔵メモリー*）、プレイリスト（カード）を切り換えられます。
*HF10のみ

モードダイヤル

1 上に押す

● 橙色になる。

2 左右に押してメモリーを切り換える

● 選んだメモリーのシーンがインデックス画面に出る。

3 下に押す

● インデックス画面のシーン上に枠が出る。

- アクセスランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - ■ カードカバーを開けない。
  - ■ 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  - ■ モードダイヤルを切り換えない。
- 本機でカードに記録した動画は、他のAVCHD規格対応機器では再生できないことがあります。その場合は本機で再生してください。また、他機でカードに記録した動画は本機で再生できないことがあります。

MEMO

- 撮影条件によっては、シーンが切り換わるときに映像が止まったり、音声が途切れたりすることがあります。
- リモコンのプレイリストボタンを押すと、インデックス画面を表示しているメモリーのプレイリストとオリジナルを切り換えることができます。

早送り、早戻し、さまざまな再生

以下の操作中は音声が聞こえません。早送り/早戻し中に (スタート/ストップ) を押すとふつうの再生に戻り、スロー再生/スロー逆再生中に押すと一時停止に戻ります。「/」の右のボタンはリモコンを使用した場合の操作です。

早送り*	再生中に T / ▶▶	ボタンを押すたびに再生速度が約5倍→約15倍→約60倍に切り換わる。**
早戻し*	再生中に W / ◀◀	
スロー再生*	一時停止中に T / ▶▶	ボタンを押すたびに再生速度が約1/8倍→約1/4倍に切り換わる。
スロー逆再生*	一時停止中に W / ◀◀	
コマ送り	一時停止中に — / II▶	ボタンを押すたびに1コマ進む。 押し続けると連続してコマごとに進む。
コマ戻し	一時停止中に — / ◀II	ボタンを押すたびに1コマ戻る。 押し続けると連続してコマごとに戻る。
スキップ再生	再生中に SET→ / ▷	次のシーンの先頭から再生
	再生中に ←SET / ◁	現在のシーンの先頭から再生
	再生中に2回押す ←←SET / ◁	前のシーンの先頭から再生

* 操作中、画面が乱れることがあります。
** 画面に出る倍速表示は目安です。

■ 見たいシーンを選ぶ

インデックス画面ごとに選ぶ

[W] または [T] を押し続ける

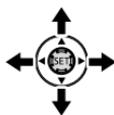
- インデックス画面全体に枠が出る。

撮影した日付から選ぶ

撮影した日付から見たいシーンを選べます。
オリジナルの動画のみ日付から選べます。

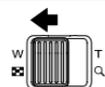
1 押す

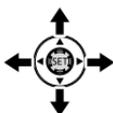
2 [日付選択] を選び、(SET) を押す

- 撮影順で並べられた日付の一覧が表示される。
- 撮影した日のシーン数とその日の撮影時間が表示される。

3 左右に押して、日、月、年を選び、上下に押して数字を選ぶ

その日の撮影時間　シーン数

カレンダー表示から選ぶ

撮影した日付から見たいシーンを選べます。
オリジナルの動画のみ日付から選べます。

1 W側に押す

- カレンダー表示画面が出る。

2 撮影した日付を選ぶ

❶ 上下に押して枠を年、月に合わせ、左右に押して年、月を選ぶ。

❷ 上下に押して枠を日に移動させ、上下左右に押して日を選ぶ。

- シーンのある日は白で表示される。
- [T] / [W] を押すと、シーンのある次/前の日に枠が移動する。
- 週の始まりの曜日は切り換えられる（📖 75）。

3 (SET) を押す

- 選んだ日付の最初のシーンがインデックス画面に出る。

中止するとき

(FUNC.) を押す。

ビデオ　かんたんに見る（基本編）

■ お好みのコマから再生する（タイムライン）

見たいシーンの任意のコマから再生できます。

1 押す

- タイムライン画面が出る。

インデックス画面に戻るとき

DISP.ボタンを押す。

2 左右に押してコマを選ぶ

他のシーンを見るとき

上下に押して選択枠を現在のシーンに移動させ、左右に押す。

コマを画面ごとに進める/戻すとき

上下に押して選択枠をコマ位置バーに移動させ、左右に押す。

コマの間隔を変えるとき

(FUNC.) を押す→左右に押して間隔を変える→ (SET) を押す。

3 押して再生する

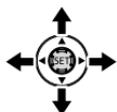
シーンを消す

1つのシーン、撮影したある日のすべてのシーン、または記録されたすべてのシーンをまとめて消すことができます。シーンを消すことでメモリーの空き容量を増やせます。撮影直後のシーンを消す場合は37ページをご覧ください。

■ ひとつのシーン、ある日のシーンをまとめて消す

1 シーンを選ぶ

- 撮影したある日のすべてのシーンを消す場合は、その日のシーンのうちの1つを選ぶ。

2 押す

3 シーンを消す

❶ 🗑(消去)を選ぶ→ SET を押す。

❷「1シーン」または「この日の全シーン」を選ぶ→ SET を押す。

❸「はい」を選ぶ→ SET を押す。

❹ SET を押す。

4 押す

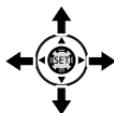
■ すべてのシーンをまとめて消す

1 押す

2 動画全消去を選ぶ

❶ (メニュー)→「メモリー実行」→「動画全消去」を選ぶ→ SET を押す。

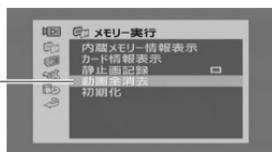
メモリー実行
内蔵メモリー情報表示
カード情報表示
静止画記録
動画全消去
初期化

❷「はい」を選ぶ→ SET を押す。

- 現在、インデックス画面を表示しているメモリーのシーンがすべて消える(HF10の場合)。

中止するとき

SET を押す。

❸ SET を押す。

3 押す

- **一度消したシーンは元に戻りませんので、消す前にシーンを確認してください。**
- 大切な映像データは、あらかじめバックアップしてください。
- シーン消去中、アクセスランプが点灯しているときは、電源ボタンをOFFにする、モードダイヤルを切り換える、カードカバーを開けるなどしないでください。

MEMO

- 消したシーンがプレイリストに追加されている場合は、プレイリスト上のシーンも消去されます。
- メモリーに記録されているすべてのシーンを消して記憶容量を元に戻す場合は、初期化します。
- 他機で記録/編集したシーンは消去できないことがあります。

テレビで見る

テレビにつないで再生すると、大きな画面で鑑賞できます。
ハイビジョンテレビにつないで美しいハイビジョン映像をお楽しみください。

モードダイヤル

1 テレビの端子と使用するケーブルを確認する

テレビにある端子	タイプ	使用するケーブル
HDMI端子	A	HDMIケーブル
D端子	B	D端子ケーブル（付属） ステレオビデオケーブル（付属）
映像/音声端子	C	ステレオビデオケーブル（付属）

2 本機とテレビの電源を切る

3 テレビに接続する

4 本機とテレビの電源を入れ、
テレビ側で入力端子を切り換える

5 再生する

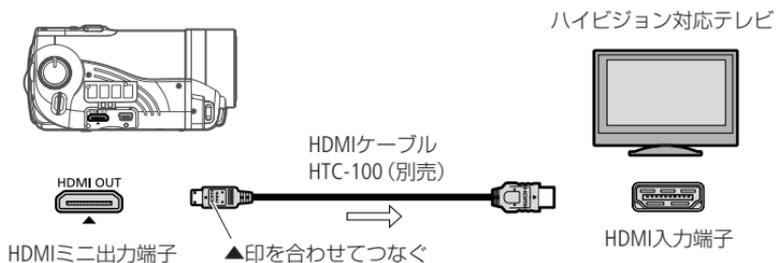
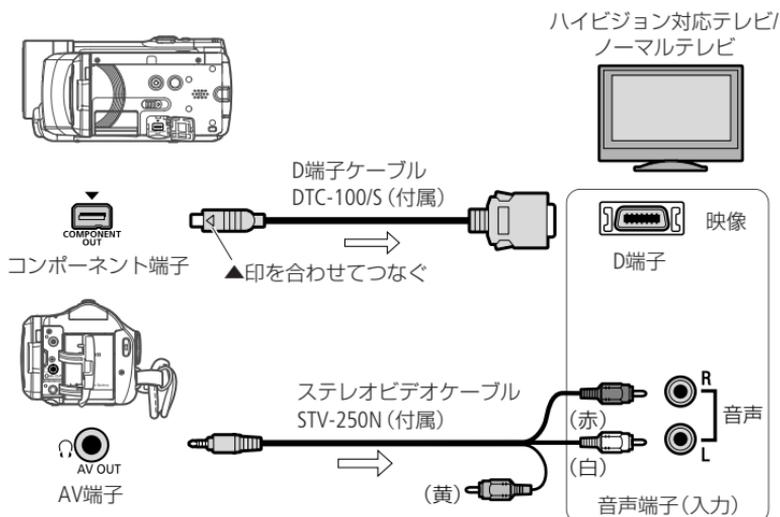
ビデオを見るとき（📖 38）
写真を見るとき（📖 88）

HDMIとは？

1本のケーブルで映像と音声を高品位なデジタル信号のままで送受信できる規格です。本機のHDMIミニ出力端子では、接続するテレビの解像度に自動的に変換して映像を出力します（📖 77）。

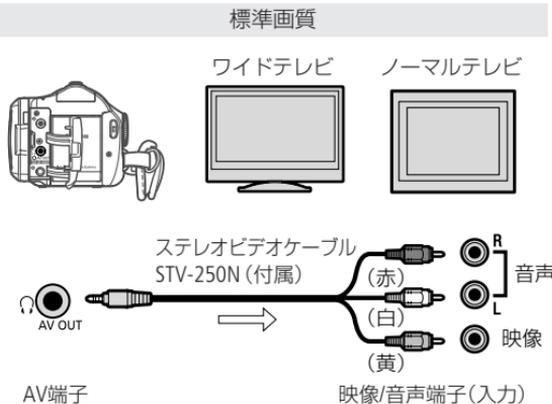
タイプA
ハイビジョンテレビにつなぐ（デジタル）
HDMI端子

タイプB
ハイビジョンテレビにつなぐ（アナログ）
D端子
映像/音声端子

メニュー設定

●テレビのD端子に合わせて、「コンポーネント出力」を設定する（ 77）。

* D3/D4/D5端子につなぐとハイビジョン画質になり、D1/D2端子につなぐと、標準画質になります。

●「AV/ヘッドホン」を「AV」に設定する（ 75）。

タイプC 従来型テレビにつなぐ（アナログ） 映像/音声端子	標準画質 ワイドテレビ　ノーマルテレビ ステレオビデオケーブル STV-250N（付属） AV OUT （赤）（白）（黄） R　L　音声　映像 AV端子　映像/音声端子（入力）
メニュー設定	● 「AV/ヘッドホン」を「AV」に設定する（📖 75）。 ● ワイド（16：9）モードのないノーマルテレビ（4：3）につなぐときは、「テレビタイプ」を「4：3」に設定する（動画再生時のみ）（📖 77）。

- テレビで見るときは、本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐと、バッテリーの消耗を気にせずご覧になれます。
- AV端子にステレオビデオケーブルをつなぐと、スピーカーから音声は出ません。
- タイプCでつなぐ場合、テレビがビデオID-1方式に対応していると、自動的にワイド画面（16：9）に切り換わります。切り換わらない場合は、テレビ側で切り換えてください。

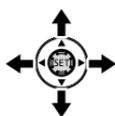
HDMIミニ出力端子に接続するときのご注意

- 本機のHDMIミニ出力端子は出力専用です。他の出力端子をつながないでください。故障の原因となります。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- テレビによっては正しく表示されないことがあります。そのときは、他のつなぎ方で接続してください。
- HDMIミニ出力端子で接続しているときは、他の端子から映像は出力されません。

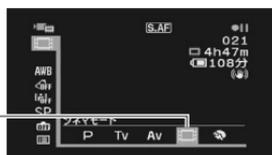
映画のように撮る

シネマエフェクト

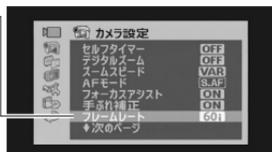
シネマエフェクトを使用すると映画のような雰囲気のある映像を撮影できます。

1 押す

2 シネマモードを選ぶ

❶ 上下に押して **P** を選ぶ。

❷ 左右に押して [シネマ] を選ぶ→ (SET) を押す。

3 フレームレートをPF24にする

❶ [メニュー]（メニュー）→「カメラ設定」→「フレームレート」を選ぶ→ (SET) を押す。

❷ 上下に押して「PF24」を選ぶ→ (SET) を押す。

4 押す

場面に合わせて撮る

スペシャルシーンモード（SCN）

照り返しの強いスキー場や、海に沈む夕日、夜空を彩る打上げ花火など、場所や被写体に合わせてきれいに撮影します。

かんたん　かんたん　**応用**

1 押す

2 撮影モードを選ぶ

❶ 上下に押して **P** を選ぶ。

❷ 左右に押して ![icon] を選ぶ→ SET を押す。

❸ 左右に押していずれかを選ぶ。

3 押す

「場面に合わせて撮るとき」に選べる項目

ポートレート

背景をぼかして、被写体を引き立たせる。

ビーチ

照り返しの強い海岸で被写体が暗くなるのを防ぐ。

スポーツ

動きの速い被写体を撮る。

夕焼け

夕焼けを色鮮やかに撮る。

ナイト

暗い場所で被写体を明るく撮る。

スポットライト

スポットライトが当たった被写体をきれいに撮る。

スノー

照り返しの強いスキー場で被写体が暗くなるのを防ぐ。

打上げ花火

打上げ花火をきれいに撮る。

MEMO

ナイトについて

- 動きのある被写体は、残像が目立つ映像になることがあります。
- 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- 画面に白い点などが出ることがあります。
- 自動でピントが合いにくいときは、ピントを調整してください。

打上げ花火について

- 手ぶれを防ぐために、三脚をお使いになることをおすすめします。
- 静止画撮影中は、シャッタースピードが遅くなるため、必ず三脚をお使いください。

- ポートレート、スポーツ、スノー、ビーチの各モードで撮影した映像を再生すると、なめらかに見えなかったり、ちらつくことがあります。
- ポートレートのときにズームをT側にすると、背景がより効果的にぼけます。
- スノー/ビーチのとき、曇りや日陰など周囲が暗いときには、被写体が明るくなりすぎることがあります。画面で映像をご確認ください。

動きの速いものを撮る シャッタースピード
背景をぼかして撮る しぼり

シャッタースピードが速いと、動きの速い被写体を一瞬でとらえ、遅いと水の流れのような流動感を表現できます。しぼり数値が小さい（開く）と背景をぼかしたポートレート、大きい（閉じる）と風景を全体的にはっきりと、撮影できます。

1 押す

2 撮影モードを選ぶ

❶ 上下に押して **P** を選ぶ。
❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

P （プログラムAE）：シャッタースピードとしぼりが自動で設定される。

Tv （シャッター優先AE）：シャッタースピードを自分で選ぶ。しぼりは自動で設定される。

Av （絞り優先AE）：しぼりを自分で選ぶ。シャッタースピードは自動で設定される。

3 押す

TvまたはAvを選んだとき

❶ 操作案内が出ているときは、SET を押して消す。
❷ 上下に押して数値を選ぶ。

Tv のとき

- 暗いところでスローシャッターを使うと明るく撮影できますが、通常の撮影に比べて画質が多少劣化したり、ピントが自動では合いにくいことがあります。
- 高速シャッターでは、映像がちらついて、なめらかに見えないことがあります。
- 蛍光灯下で動画を撮影するとき、画面のちらつきがとれない場合は、**Tv** を選んでから1/100秒を選んでください。

Av のとき

- しぼり数値
  1.8、2.0、2.4、2.8、3.4、4.0、4.8、5.6、6.7、8.0
- 設定できる数値は、ズームの位置によって変わります。

● AEはAuto Exposure（オート エクスポージャー）（自動露出）、TvはTime value（タイム バリュー）（時間量）、AvはAperture value（アパーチャー バリュー）（開口量）の略です。

● 数値が点滅するときは、適正な明るさになっていません。数値が点滅しなくなるまで、シャッタースピードやしぼりを調整してください。

シャッタースピードを選ぶときの目安

例 画面に「Tv30」と出ているときは、シャッタースピードが「1/30秒」であることを表します。

（動画のとき）	（静止画のとき）	こんなときに使います
1/8、1/15、1/30秒	1/2、1/4、1/8、1/15、1/30秒	少し暗い場所で、被写体を明るく撮影するとき。水の流れなどの流動感を撮影するとき。
1/60秒	1/60秒	一般的な撮影のとき。
1/100秒	1/100秒	屋内でスポーツをしている人を撮影するとき。
1/250、1/500、1/1000秒	1/250、1/500	動きの速い乗り物を撮影するとき。
1/2000秒	–	晴天下でスポーツをしている人を撮影するとき。

メニューの「フレームレート」を「PF24」（📖 72）に設定しているときのシャッタースピードは、1/6、1/12、1/24、1/48、1/60、1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000秒です。

暗いところで撮る　ミニビデオライト

暗いところで撮影する場合、ミニビデオライトを使って被写体を明るく撮影できます。

1 SET を押す

● 操作案内が出る。☼が表示されないときは、ジョイスティックを下に押す。

2 右（☼）に押す

● もう一度右に押すと、消灯する。

点灯中は☼が出る。

● 別売のワイドコンバーター、テレコンバーターを取り付けたときは、影が映るため、ミニビデオライトは使わないことをおすすめします。

セルフタイマーを使う

自分を入れて撮影するときに便利です。約10秒後に撮影が始まります。

モードダイヤル 　かんたん　かんたん　応用

1 押す

● 動画を撮影しているときは、撮影一時停止中に操作する。

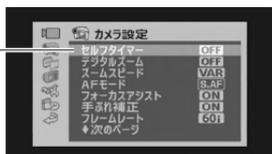
2 セルフタイマーを選ぶ

❶ (メニュー)→「カメラ設定」→「セルフタイマー」を選ぶ→ SET を押す。

❷「入」を選ぶ→ SET を押す。

解除するとき

❷で「切」にする。

3 押す

● 画面に が出る。

4 動画の場合 押す

● 撮影開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウンされる（リモコンの場合は2秒）。

静止画の場合 浅く押し続け、深く押す

● 浅く押し続けるとピントが合う。

● 撮影開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウンされる（リモコンの場合は2秒）。

● 撮影開始までの時間が出ているときに、スタート/ストップボタン（動画のとき）やPHOTOボタン（静止画のとき）を押すか、電源を切ると、セルフタイマーは解除されます。

明るさを調整する　露出

逆光のとき被写体が黒くなったり、強い光が当たったときに白くとんでしまうことがあります。このようなときは明るさ（露出）の調整をします。撮影モードをFUNC.メニューで「打上げ花火」に設定しているときは、使用できません。

モードダイヤル 　かんたん　かんたん 応用

1 SET を押す

- 操作案内が出る。

2 露出を選ぶ

❶ 下に押して「露出」の画面を選ぶ。

❷ 上（露出）に押す。

- 明るさによって長さが変わり、調整範囲も変わる。「±0」が出る。
- ズームを動かすと、明るさが変わることがある。

3 露出を調整する

❶ 左右に押す。

❷ SET を押す。

- 画面の明るさが固定され、操作案内が消える。
- もう一度 SET を押してから上（露出）に押すと、自動での露出調整に戻る。

逆光下で撮るときは

窓際や水辺の人物を撮るときなど、逆光下での撮影では、一般的に、被写体が暗くなります。このようなとき、逆光補正 を押すだけで（ が画面に出る）明るさを補正して、被写体を明るく撮影できます。もう一度 逆光補正 を押すと、逆光補正は解除されます。

ピントを合わせる フォーカス

自動でピントが合いにくい場合は、ピントの調整をします（マニュアルフォーカス）。なお、ズーム操作はピントを合わせる前に行ってください。

モードダイヤル かんたん　かんたん **応用**

1 SET を押す

● 操作案内が出る。

2 フォーカスを選ぶ

❶ 下に押して「フォーカス」の画面を選ぶ。

❷ 上（フォーカス）に押す。

「MF」が出る。

3 ピントを合わせる

❶ 左右に押す。

● メニューの「フォーカスアシスト」を「入」に設定しているときは、画面の中央が拡大される（ 📖 71）。

❷ 左右に押し続ける。

● 上に押すと、自動のピント合わせに戻る。

❸ SET を押す。

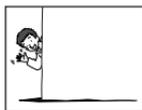
● ピントが固定され、操作案内が消える。

● もう一度 SET を押してから上（フォーカス）に押すと、自動のピント合わせに戻る。

花火や山など、遠くにピントを合わせたいときは

操作2の❶の後に、ジョイスティックを上に2秒以上押し続けてください。画面に∞が表示されます。もう一度、上に押すとピント合わせは自動に戻ります。ジョイスティックを左右に押したり、ズームレバーを押したりすると、手動でのピント合わせに戻ります。

自動でピントが合いにくいときはどんなとき？

強い光が反射

明暗の差がない

動きが速い

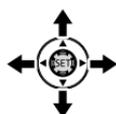
水滴が付いているガラス越しの撮影

夜景

色合いを調整する ホワイトバランス

太陽光や蛍光灯など、周りの光によって白い壁や白い紙などはオレンジっぽくなったり、青っぽくなったりします。撮影時の光に関係なく「白いものを白く」写すように色を調整できます。

かんたん かんたん **応用**

1 押す

2 目的のホワイトバランスを選ぶ

❶ 上下に押してAWBを選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

AWB オート	通常はAWB（オート）を選択。自動的に自然な色合いに調整される。
太陽光	晴天の屋外で撮影するときに選択。
日陰	日陰で撮影するときに選択。
くもり	曇天時に撮影するときに選択。
電球	電球や電球色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
蛍光灯H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
セット	上記のモードで対応できない場合は（セット）を選ぶ。さまざまな光の下で、白いものを白く写すように調整するとき。

（セット）を選んだとき

❸ 白紙、白布を写す。
T側にして、画面いっぱいに写す。

❹ SET を押す。
が点滅→点灯に変わったら調整完了。調整内容は電源を切っても記憶されている。

3 押す

（セット）を選んで調整するとき

- 明るさが十分な場所で操作してください。
- メニューの「デジタルズーム」を「切」にしてください（ 71）。
- 光が変わったときは再調整してください。
- 光によっては、ごくまれに が点滅→点灯に変わらないことがありますが、自動調整よりも適切なホワイトバランスに調整されていますのでそのままお使いください。

AWB（オート）でうまくいかないとき

つぎのような条件で撮影するとき、画面の色が不自然であれば、（セット）で調整をしてください。

- 照明条件が急に変わる場所での撮影
- クローズアップ撮影
- 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影
- 水銀灯や一部の蛍光灯のもとでの撮影

- 蛍光灯の種類によっては、（蛍光灯）や（蛍光灯H）を選んでも色合いが最適に調整されないことがあります。画面で色が不自然に見えるときは、AWB（オート）または（セット）を選んでください。

好みの画質にする　画質効果

肌をなめらかに表現してきれいに撮影することができます。ほかにも、輪郭の強調を抑えてソフトに撮影したり、コントラストに強弱を付けて撮影することもできます。

モードダイヤル　　かんたん　かんたん　応用

1 押す

2 目的の画質効果を選ぶ

❶ 上下に押して OFF を選ぶ。
❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

OFF 画質効果切	画質効果を使わないとき。
V くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調。
N すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑える。
LS ソフト	輪郭の強調を抑える。
SD 美肌	肌をなめらかに表現して、きれいに見せる。
C カスタム	色の濃さ、シャープネス、コントラスト、明るさを自由に設定。 色の濃さ：（－）薄い、（＋）濃い シャープネス（輪郭強調）：（－）弱い、（＋）強い コントラスト（明暗差）：（－）弱い、（＋）強い 明るさ：（－）暗い、（＋）明るい

C（カスタム）を選んだとき

❸ SET を押す→上下に押してカスタムの項目を選ぶ。
❹ 左右に押して調整する→ SET を押す。

3 押す

場面の切り換えと特殊効果 デジタルエフェクト

映像の始まりと終わりを演出するフェーダーや、色を変えるエフェクトを使って、思い出のシーンや静止画にひと工夫加えてみましょう。静止画のときは「シロクロ」と「セピア」のみ使用できます。

フェーダー

映画のようにシーンの始まりと終わりを演出します。

F1 オートフェード

エフェクト

シロクロやセピアにして雰囲気を出したり、絵画のようなイメージにすることができます。

E1 シロクロ

1 押す

2 目的のデジタルエフェクトを選ぶ

❶ 上下に押して を選ぶ。

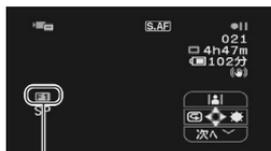
❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

3 押す

4 デジタルエフェクトを有効にする

緑色に変わる。

❶ SET を押す。
- 操作案内が出る。が表示されないときは下に押す。

❷ 上( )に押す。

デジタルエフェクトを無効にするとき

上( )にもう一度押す。

5 動画撮影時 押す

- 撮影一時停止中(●II)にフェーダーを使うと、映像と音声が徐々に出る。撮影中(●)に使うと、映像と音声が徐々に消えて、撮影一時停止になる。

静止画記録時 押す

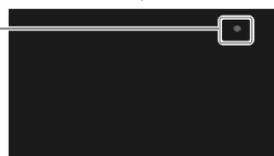
- 静止画が「シロクロ」または「セピア」で記録される。

- 一度設定したデジタルエフェクトは、電源を切ったり、撮影モードを変更しても記憶されています。

画面の表示を切り換える

画面に表示する撮影情報を切り換えられます。

1 押す

- 撮影情報が表示される。
- 表示される情報は、押すたびに切り換わる。

- 表示される内容や切り換わりかたは、モードダイヤルの位置によって異なります。

動画撮影中	すべて表示	→	表示なし*	
動画再生中	すべて表示	→	「データコード」メニューの設定情報を表示	→ 表示なし
静止画撮影中	すべて表示	→	表示なし*	
静止画再生中	すべて表示	→	記録枚数、日時、画質などを表示	→ 表示なし

＊ メニューで設定した「マーカー」は表示される。

データコードとは?

画面に表示される日時やカメラデータ（シャッタースピードやしぼり数値）などの撮影情報を、「データコード」といいます。動画再生時に表示されるデータコードは切り換えられます（📖 74）。

録音時の音量を変える　録音レベル

内蔵マイクや外部マイクの録音時の音量（録音レベル）を調整します。

1 SET を押す

- 操作案内が出る。

2 録音レベルを選ぶ

❶ 下に押して「MIC」の画面を選ぶ。
- レベルメーターが表示される。

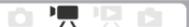
❷ 上（MIC）に押す。
- M（マニュアル）と緑色のバーが表示される。

3 録音レベルを調整する

❶ 左右に押して、録音レベルを調節する。
- レベルメーターが12より右の位置で時々点灯するように調整する。

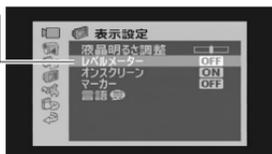
❷ SET を押す。
- 録音レベルが固定され、操作案内が消える。
- もう一度 SET を押してから上（MIC）を押すと、自動調整に戻る。

録音レベルを表示する

1 押す

2 レベルメーターを選ぶ

❶ (メニュー)→「表示設定」→「レベルメーター」を選ぶ→ SET を押す。

❷ 「入」を選ぶ→ SET を押す。

3 押す

● レベルメーターが出る。

● レベルメーターの0で赤く点灯するときは、音がひずむことがあります。

● レベルメーターが適切に点灯しているのに音声がひずむときは、メニューの「マイクATT」を「入」にしてください(📖 73)。

● 録音レベルを調整したり、「マイクATT」を使ったりするときは、ヘッドホンで音量を確認することをおすすめします(📖 66)。

* ATTはAttenuator(アッテネーター)の略で、信号を小さくする減衰器のことです。

ヘッドホンを使う

撮影時や再生時にヘッドホンで音声を聞くことができます。

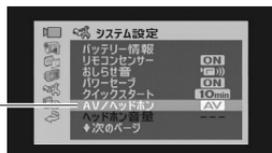
■ ヘッドホンで音声を聞きながら撮影/再生する

🎧（ヘッドホン）端子は、AV（映像/音声）端子と共通です。ヘッドホンを使うときは、メニューで切り換えます（📖 75）。

1 押す

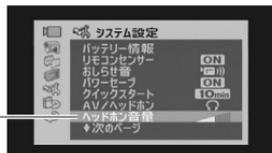
2 ヘッドホンを選ぶ

❶ ☰（メニュー）→「システム設定」→「AV/ヘッドホン」を選ぶ→ SET を押す。

❷ 上下に押して「ヘッドホン」を選ぶ→ SET を押す。

● ヘッドホンを使うときは、音量を一度下げてください。

3 ヘッドホン音量を調整する

❶ ☰（メニュー）→「システム設定」→「ヘッドホン音量」を選ぶ→ SET を押す。

❷ 左右に押して音量を調節する。

4 押す

● 画面に🎧が出る。

再生時にヘッドホンで聞くとき

❶ 動画再生中に、SET を押す。
❷ 操作案内が出たら、上下に押して、音量を調整する。

- ヘッドホンを使うときは、音量を一度下げてください。
- **画面に🎧が出ていないときは、ヘッドホンを接続しないでください。出ていないときに、ヘッドホンを接続すると、雑音が出ます。**

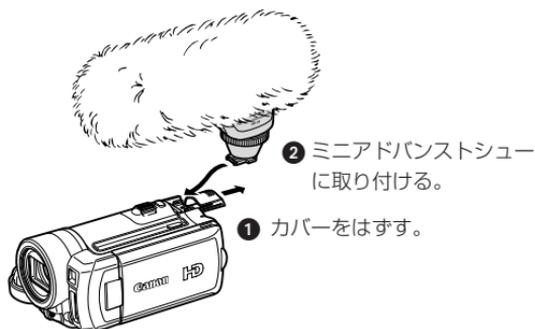
- 再生時、モードダイヤルを切り換えると、「AV/ヘッドホン」は「AV」に戻ります。

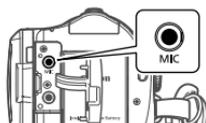
外部マイクを使う

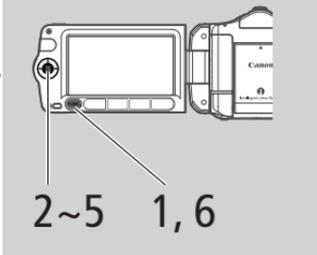
とらえたい音声を確実に記録したいときなどは、別売のマイクを使うと便利です。指向性ステレオマイクロホンDM-100を使用すると、大切なシーンの言葉を逃しません。

モードダイヤル　かんたん　かんたん 応用

■ マイクを取り付ける

外部マイクDM-100を取り付けると、画面にが表示されます。

市販のマイクを使うとき

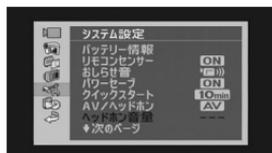
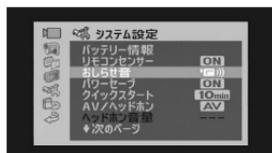
マイク端子に接続し、マイクは手に持つなどして使う。

- 市販のマイクを使うときは、電源内蔵タイプのコンデンサーマイクをお使いください。端子の直径が3.5mmのステレオマイクであれば、ほとんどが使用できます。音量は内蔵マイクと異なります。
- 外部マイク接続中、「ウィンドカット」は自動的に「切」になります。
- 従来の「アドバンストアクセサリーシュー」対応のアクセサリーは、本機の「ミニアドバンストシュー」には取り付けられません。
- 本機には、 Mini ADVANCED SHOE ロゴ表記があるミニアドバンストシュー対応アクセサリーをご利用ください。
- 音声がひずむときは、メニューの「マイクATT」を「入」にしてください。それでもひずむときは、録音レベル（📖 64）を調整してください。

メニューの設定を変える

本機のさまざまな機能について、ご購入時の設定をメニューから変更できます。かんたんボタンを応用モード（消灯）にして操作します。かんたんモード（点灯）のときは、一部を除いてご購入時の設定になります（□ 33）。

例「おしらせ音」を「切」に設定する

1 押す

2 上下に押して ☰（メニュー）を選び、SET を押す

3 上下に押して項目を選び、SET を押す

4 上下に押して機能を選び、SET を押す

5 上下に押して設定内容を選び、SET を押す

6 押す

- FUNC.ボタンを1秒以上押したり、リモコンのMENUボタンを押してもメニューを表示できます。
- FUNC.ボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。
- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は､黒色で表示されます。

■ メニューの紹介

設定できる機能は、モードダイヤルの位置により異なります。ご購入時には、太文字の内容に設定されています。各機能の詳細は、参照ページをご覧ください。欄が「－」になっている機能は、欄外の説明をご参考ください。

カメラ設定

機能	設定内容	動画	静止画	参照ページ
セルフタイマー	ON 入 、OFF **切**	●	●	55
デジタルズーム	OFF **切**、40x 40×、200x 200×	●		－
ズームスピード	VAR **可変速**、スピード3 スピード2、スピード1	●	●	34
AFモード	S.AF **ハイスピードAF**、AF ノーマルAF	●	●	－
フォーカスアシスト	ON **入** 、OFF 切	●	●	－
AF補助光	A **オート**、OFF 切		●	93
フォーカス優先	AiAF **入：AiAF**、入：中央固定、OFF 切		●	－
手ぶれ補正	ON **入** 、OFF 切	●	●	－
フレームレート	60i **標準（60i）**、PF30 PF30、PF24 PF24	●		－
オートスローシャッター	ON **入**、OFF 切	●	●	－
静止画確認時間	OFF 切、2sec **2秒**、4sec 4秒、6sec 6秒、 8sec 8秒、10sec 10秒		●	－
ウィンドカット	A **オート**、OFF 切	●		－
マイクATT	ON 入、OFF **切**	●		－

デジタルズーム

デジタルズームの設定を選びます。

- デジタルズームを設定したときは、光学ズーム領域を越えると、自動的にデジタルズームになります。
- デジタルズーム領域では映像をデジタル処理するため、拡大するほど映像が粗くなります。
- ズーム表示は、12倍から40倍までは水色、40倍から200倍までは青色になります。

AFモード

ピントが合う速さを選びます。

ハイスピードAF　遠くと近くの被写体に順にピントを合わせるときや、子供を追いかけるときなど被写体が速く動くときに、素早くピントを合わせる。
ノーマルAF　別売のワイドコンバーターやテレコンバーターを使うときなど、ハイスピードAFセンサーを隠してしまうときに使用する。

フォーカスアシスト

ピントを調整するとき、画面の中央を拡大表示します（□ 57）。

- 拡大表示することで、ピントを合わせる部分が確認でき、ピント調整の手助けになります。
- 記録する動画/静止画には影響しません。撮影を開始すると解除されます。

フォーカス優先

PHOTOボタンを浅く押したときに表示されるピントを合わせる枠（AF枠）の選びかたを変えられます。

入:AiAF　撮影状況によって、9つの枠の中から、自動でピントを合わせる枠を選ぶ。
入:中央固定　9つの枠の中央にピントを合わせる。狙った被写体に確実にピントを合わせたり、構図を楽しむのに便利。
切　PHOTOボタンを押してすぐに記録したいとき。

- 「切」を選んだとき、AF枠は表示されません。
- 撮影モードをFUNC.メニューで「打上げ花火」に設定しているときは、自動的に「切」になります。

手ぶれ補正

ズームの望遠側で撮影するときなど、手ぶれの少ない安定した画面で撮影できます。

- 手ぶれが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- 三脚などを使って撮影するときは、手ぶれ補正を切ることをおすすめします。

フレームレート

「PF24」に設定すると、映画の雰囲気で撮影できます。

60i 通常通りに撮影する。
PF30 映像を30コマ/秒で送る方式で撮影する。インターネットに映像を掲載するときなどに便利。
PF24 映画と同じように映像を24コマ/秒で送る方式で撮影する。「シネマモード」（49）と組み合わせると、より映画の雰囲気に近い映像になる。

オートスローシャッター

暗めの室内など明るさが不足する場所でスローシャッターを使って明るく撮影します。

- 1/30秒までのスローシャッターになります。メニューの「フレームレート」を「PF24」に設定しているときは1/12秒、「PF30」に設定しているときや静止画記録時は1/15秒までになります。
- 「P（プログラムAE）」のときに設定でき、かんたんモードに切り換えても設定は変わりません。
- 静止画記録時は、フラッシュが「発光禁止」のときに使用できます。
- 動きのある被写体を撮るとき、尾を引いたような残像が出る場合は、「切」を選びます。
- 画面に （手ぶれ警告）が出たときは、三脚などでビデオカメラを固定することをおすすめします。

静止画確認時間

メモリーに静止画を記録した直後に、静止画を確認する時間を変えます。

- ドライブモードで連写、高速連写、AEBを選んでいると、静止画確認時間は設定できません。
- 静止画確認時間中にDISP.ボタンを押すと、静止画が表示され続けます。PHOTOボタンを浅く押すと、撮影状態に戻ります。

ウィンドカット

風の影響を受ける屋外で撮影する際、風の「ボコボコ」という音の影響を自動的に低減できます。

- 低い音の一部も風の音と一緒に低減されますので、風の影響を受けない場所や低い音まで収録する場合は、設定を解除することもできます。

マイクATT

録音した音声がひずむときに使います。

- 録音レベル（ 64）が適切に設定されているのに録音した音声がひずむときは、マイクATTを「入」にします。「入」にすると画面にATTが出ます。

メモリー実行

機能	設定内容					
HF10 内蔵メモリー情報表示	—	●	●	●	●	—
カード情報表示	—	●	●	●	●	—
HF10 動画記録	**内蔵メモリー**、カード	●		●		28
HF10 静止画記録	**内蔵メモリー**、カード	●	●	●		28
動画全消去 *1	いいえ、はい		●			45
プレイリスト全消去 *2	いいえ、はい		●			80
印刷指定全消去	いいえ、はい				●	114
送信指定全消去	いいえ、はい				●	128
静止画全消去	いいえ、はい				●	90
初期化 *1	[内蔵メモリー、カード] 初期化、完全初期化、キャンセル	●	●	●	●	29

*1 オリジナルのときのみ

*2 プレイリストのときのみ

内蔵メモリー情報表示 HF10 ／ カード情報表示

内蔵メモリーやカードの容量/使用量、動画の撮影時間/撮影可能時間*、静止画の記録枚数/記録可能枚数*を確認できます。カードの場合はSDスピードクラスも確認できます。

* 現在設定している動画の録画モードや静止画の画質/サイズをもとに算出します。

表示設定

機能	設定内容	動画撮影	動画再生	静止画撮影	静止画再生	📖
液晶明るさ調整	(スライダー)	●	●	●	●	–
レベルメーター	ON 入、OFF **切**	●				65
オンスクリーン	ON **入**、OFF 切	●		●		–
データコード	日付、時刻、**日付&時刻**、カメラデータ		●			–
マーカー	OFF **切**、W水平(白)、G水平(グレー)、W グリッド(白)、G グリッド(グレー)	●		●		–
言語	**日本語**、ENGLISH(英語)	●	●	●	●	–
カレンダー指定	**日曜**、月曜、土曜		●			–

液晶明るさ調整

液晶画面の明るさを調整します。

- ジョイスティックを左右に押して、調整します。
- 記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。

オンスクリーン

液晶画面に表示される情報を、ステレオビデオケーブルで本機と接続したテレビの画面に表示します。

データコード

日付や時刻、カメラデータの表示のしかたを切り換えます。

マーカー

画面に水平線や格子状の線(グリッド)が表示されます。被写体が水平/垂直になっているかを確認しながら撮影できます。

- 撮影された動画/静止画には表示されません。

言語

画面に表示される言語を変えます。

- メニューに表示される SET と FUNC. は、変わりません。

カレンダー指定

カレンダー表示の開始曜日を変更できます。

システム設定

機能	設定内容	ビデオ撮影	ビデオ再生	写真撮影	写真再生	📖
バッテリー情報	–	●	●	●	●	–
リモコンセンサー	ON **入**、OFF 切	●	●	●	●	–
おしらせ音	**大**、小、OFF 切	●	●	●	●	–
パワーセーブ	ON **入**、OFF 切	●	●	●	●	–
クイックスタート	OFF 切、10min **10分**、20min 20分、30min 30分	●		●		–
AV/ヘッドホン	AV **AV**、ヘッドホン	●	●			47, 66
ヘッドホン音量	、OFF	●	●			66
スピーカー音量	、OFF		●			38
静止画番号	オートリセット、**通し番号**	●	●	●	●	–
静止画像画質	LW スーパーファイン、**LW ファイン**、LW ノーマル		●			–
テレビタイプ *	4:3 ノーマルテレビ、16:9 **ワイドテレビ**		●			–
コンポーネント出力*	480i 480i、1080i **1080i**	●	●	●	●	–
HDMI出力状態	–	●	●	●	●	–
USB接続指定	DVDライター、パソコンなど、**接続時に選択**		●		●	–
ディスク作成指定	**全シーン**、未作成シーン、プレイリスト		●			–
	全ての静止画、送信指定静止画				●	–
FIRMWARE	–				●	–

* HDMIケーブルで他の機器に接続されている場合は、設定できません。

バッテリー情報

バッテリーの残量(%)と撮影/再生可能時間(分単位まで)を確認できます。

リモコンセンサー

リモコンの信号を受け付けるかどうかを設定します。

おしらせ音

電源を入れたり、セルフタイマーを使うときなどに音が鳴ります。

パワーセーブ

バッテリーを使用時、約5分間何も操作をしないと、省電のために電源が切れます。

- 電源が切れる約30秒前に、「⚠AUTO POWER OFF」が表示されます。
- スタンバイ中は、メニューの「クイックスタート」で設定した時間で電源が切れます。

クイックスタート

スタンバイ中に何も操作しないと、設定した時間で節電のために電源が切れます。
「切」にすると動画や静止画の撮影時、液晶画面の開閉でクイックスタートしません。

静止画番号

静止画の静止画番号の付けかたを選びます。

オートリセット　静止画番号は101-0101から始まる。すでに静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。
通し番号　静止画番号は、最後に記録した静止画の続き番号から始まる。静止画番号の方が大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。

- 記録された静止画は、自動的に0101～9900までの静止画番号が付き、1つのフォルダーに100枚ずつ保存されます。それぞれのフォルダーには、101～998までの番号が付きます。
- 例えば「101-0107」という静止画番号の場合、「DCIM¥101CANON」というフォルダーにある「IMG_0107.JPEG」という静止画を指します。
- 通常は「通し番号」に設定しておくことをおすすめします。

静止画像画質

動画から一場面を静止画として記録するときの画質を選びます(あとからフォト)。

テレビタイプ

接続するテレビに合わせて選びます。映像の縦・横の比率を正しく再生します。

4：3 ノーマルテレビ	ノーマルテレビに接続するときに選ぶ。
16：9 ワイドテレビ	ワイドテレビに接続するときに選ぶ。

- テレビタイプの設定を4：3にして、16：9で撮影した映像を再生すると、液晶画面に表示される映像が小さくなります。
- メニューの「テレビタイプ」を「4：3」に設定している場合は、映像を静止画に切りとれません（102）。

コンポーネント出力

D端子のあるテレビとつなぐときに選びます。

480i	D1端子（480i）対応のテレビにつなぐとき。
1080i	D3/D4/D5端子（1080i）対応のテレビにつなぐとき。

HDMI出力状態

現在のHDMIミニ出力端子の出力状態を確認できます。

USB接続指定

他の機器とUSBケーブルでつないだときの動作を選びます。

DVDライター	DVDライターとつなぐとき
パソコンなど	パソコンやプリンターとつなぐとき
接続時に選択	USBケーブルをつないだときに、相手がDVDライターか、それ以外かを選びたいとき。

ディスク作成指定

ディスクに保存するデータを選びます。

動画：

全シーン	インデックス画面に表示しているメモリーのすべてのシーン。
未作成シーン	インデックス画面に表示しているメモリーのシーンのうち、ディスクに保存したことがないシーン。
プレイリスト	インデックス画面に表示しているメモリーのプレイリストのシーン。

静止画：

全ての静止画	画面に表示しているメモリーのすべての静止画。
送信指定静止画	画面に表示しているメモリーの静止画のうち、送信指定した静止画。

FIRMWARE

ビデオカメラの、現在のバージョンを確認できます。
- 通常は黒色で表示されます。

日時設定

機能	設定内容	動画撮影	動画再生	写真撮影	写真再生	参照ページ
エリア/サマータイム	–	●	●	●	●	24
日付/時刻	–	●	●	●	●	24
日時スタイル	**Y.M.D（2008.1.1 AM12:00）**、 M.D,Y（JAN. 1, 2008 12:00AM）、 D.M.Y（1. JAN. 2008 12:00AM）	●	●	●	●	–

日時スタイル

日時の表示のしかたを変えます（印刷時を含む）。

プレイリストを作る

プレイリストとは、撮影したシーンを再生（プレイ）したい順に並べた一覧（リスト）のことです。お好みのシーンを集めて自分だけのアルバムができます。プレイリストのシーンを移動したり、消したりしても、撮影したオリジナルデータは変わりません。オリジナルデータの1つのシーンまたは撮影したある日のすべてのシーンをプレイリストに追加できます。

モードダイヤル

1 シーンを選ぶ

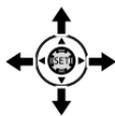
- 撮影したある日のすべてのシーンを追加する場合は、その日のシーンの内の1つを選ぶ。

2 押す

3 （プレイリスト追加）を選び、SET を押す

4 項目を選ぶ

❶「この日の全シーン」または「1シーン」を選ぶ→ SET を押す。

❷「はい」を選ぶ→ SET を押す。

- 現在、インデックス画面を表示しているメモリーのプレイリストに追加される（HF10のみ）。
- プレイリストに切り換えると、追加したシーンを確認できる（□ 39）。

MEMO

- 内蔵メモリーとカード両方のシーンを同じプレイリストに追加するときは、まず追加したい内蔵メモリーのシーンをカードにコピー（□ 82）し、次にカードのシーンを選んでプレイリストに追加します（HF10のみ）。
- メモリーの空き容量が少ないときや他機で記録/編集したシーンは、プレイリストに追加できないことがあります。

プレイリストのシーンを消す

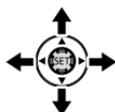
プレイリスト内の不要なシーンを消すことができます。1シーンだけを消す方法のほかに、全シーンをまとめて消す方法もあります。

ひとつのシーンを消す

1 プレイリストのインデックス画面に切り換える

参考 ▶▶ 39

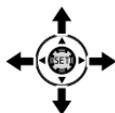
2 消すシーンを選ぶ

3 押す

4 シーンを消す

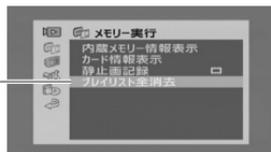
❶ 🗑（消去）を選ぶ→ SET を押す。

❷「はい」を選ぶ→ SET を押す。

すべてのシーンをまとめて消す

1 押す

2 全シーンを消す

❶ ☰（メニュー）→「メモリー実行」→「プレイリスト全消去」を選ぶ→ SET を押す。

メモリー実行
内蔵メモリー情報表示
カード情報表示
静止画記録
プレイリスト全消去

❷「はい」を選ぶ→ SET を押す。

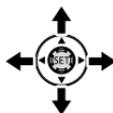
● 現在、表示しているメモリーのプレイリストのシーンがすべて消える（HF10のみ）。

3 押す

プレイリストのシーンを並べ換える

プレイリスト内のシーンをお好みの順に並べ換えられます。

1 プレイリストのインデックス画面に切り換える

参考 ▶▶ 39

2 移動するシーンを選ぶ

3 押す

4 (移動)を選び、SET を押す

5 移動する位置を選ぶ

❶ バーを移動する位置に動かす→ SET を押す。

移動元位置　移動先位置

❷「はい」を選ぶ→ SET を押す。

● メモリーの空き容量が少ないとプレイリストのシーンの並べ換えができないことがあります。

ビデオをコピーする HF10

1つのシーン、撮影したある日のすべてのシーン、または記録されたすべてのシーンを内蔵メモリーからカードにコピーできます。プレイリストの場合はすべてのシーンをまとめてコピーする方法のみになります。

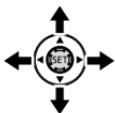
モードダイヤル

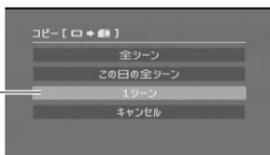
1 コピーするシーンを選ぶ

- 内蔵メモリーのシーンを選ぶ。
- 撮影したある日のすべてのシーンをコピーする場合は、その日のシーンを1つ選ぶ。
- 全シーンをコピーするときは操作1は不要。

2 押す

3 コピーする

❶ (コピー)を選ぶ→ SET を押す。

❷「全シーン」、「この日の全シーン」または「1シーン」を選ぶ→ SET を押す。

- プレイリストのときは「全シーン」のみのため、操作❷は不要。

❸「はい」を選ぶ→ SET を押す。

中止するとき

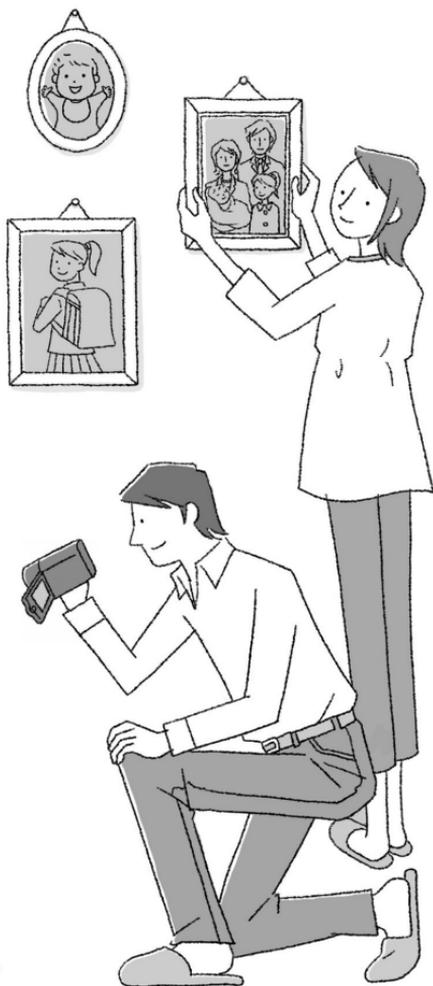
SET を押す。

❹ FUNC. ボタンを押す。

ご注意

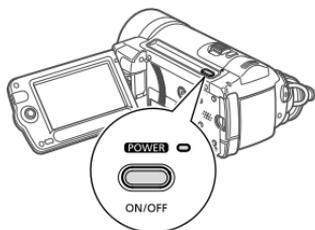
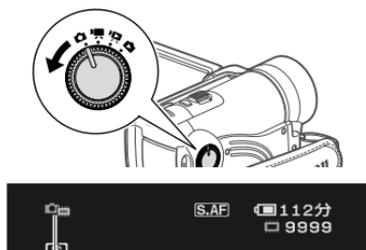
- アクセスランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  - モードダイヤルを切り換えない。
- カードカバーが開いている、カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっている、などのときはコピーできません。

Chapter 3 写真

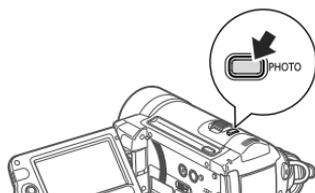
Taking and Viewing Photos

写真を撮る

静止画は内蔵メモリー*とカードに記録できます（*HF10のみ）。

1 ONにする

2 にする

/ が表示される。

- カードに記録するとき（ 28）。

3 浅く押し続ける

- ピントを調整し、終わるとが緑色になって緑色の枠が出る。
- リモコンのPHOTOボタンを押したときは、ピントを調整後すぐに静止画が記録される。

4 深く押す

- アクセスランプが点滅。

- アクセスランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  - モードダイヤルを切り換えない。

写真

かんたんに撮る（基本編）

- 自動でピントが合いにくい被写体の場合は、◉が黄色くなります。手動でピントを調整してください(57)。
- 被写体が明るすぎると「露出オーバー」が点滅します。このような場合は、別売のフィルターセットFS-H37UのNDフィルターを取り付けてください。

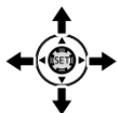
■ いま撮った写真を消す

メニューで設定した静止画確認時間中にいま撮った静止画を消せます。静止画確認時間(72)を「切」に設定したときは記録直後に消します。単写で記録しているときに操作します。

画質やサイズを選ぶ

静止画のサイズは、高画質で撮るときは大きく、枚数を多く撮るときは小さく設定しましょう。**LW**を選ぶと、ワイド画面で撮影できます。

モードダイヤル　かんたん　**応用**

1 押す

FUNC.

2 静止画のサイズを選ぶ

❶ 上下に押して◢Lを選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ→ SET を押す。

記録できる枚数の目安

3 画質を選ぶ

いずれかを選ぶ。

4 押す

- 静止画の枚数が多いと、パソコンに静止画を取り込めないことがあります（Windows：1800枚以上、Macintosh：1000枚以上の場合）。その場合はカードリーダーなどをお使いください。
- 1800枚以上の静止画があるときは、PictBridge対応プリンターに接続できません。快適に操作するために、100枚以下にしてください。
- 画質やサイズ、撮影条件や被写体により、記録できる静止画の枚数は異なります。
- かんたんモードに切り換えても設定は変わりません。

カードに記録できる枚数の目安

サイズ	LW 1920×1080			L 2048×1536			M 1440×1080			SW 848×480*1			S 640×480		
画質	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
128MB	85	130	260	55	85	175	115	175	345	450	635	1275	585	845	1525
512MB	350	525	1035	230	345	700	470	700	1365	1775	2515	5030	2315	3350	6030
1GB	705	1055	2080	470	700	1400	940	1400	2740	3550	5030	10060*2	4640	6705	12070*2

*1 同時記録（□96）のとき
*2 画面には「9999」と出ますが、実際は表の画像数の目安まで記録できます。

スーパーファイン：スーパーファイン、ファイン：ファイン、ノーマル：ノーマル

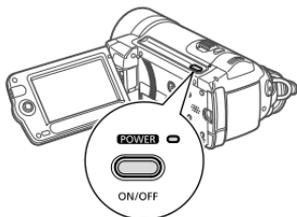
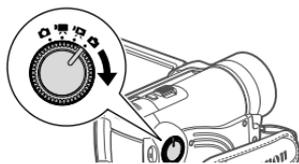
静止画サイズによって用途が異なります

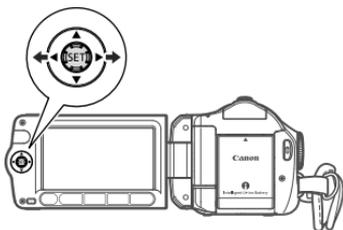
L 2048×1536　：A4サイズまでを印刷するとき
M 1440×1080　：Lサイズまたはポストカードサイズで印刷するとき
S 640×480　：電子メールで添付するときやWeb用
LW 1920×1080
SW 848×480　：ワイドサイズの用紙に印刷するとき

写真を見る

撮った静止画を見てみましょう。

1 ONにする

2 ▶にする

▶ / ▶ が表示される。

3 静止画を選ぶ

- 押し続けると連続して探せる。

■ 10枚/100枚ごとに探す

静止画を10枚または100枚ごとに飛ばして表示できます。

❶ ジョイスティックの SET を押して、操作案内を出す。

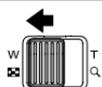
❷ 上（ ）に押す。

❸ 左右に押すと、10枚ごとにジャンプする。

- 上下に押すたびに10枚ごと/100枚ごとのジャンプに切り換わる。
- SET を押すと終了する。

- アクセスランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  - モードダイヤルを切り換えない。
- 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
  - 本機以外の製品で記録したとき。
  - パソコンで作成や加工をしたとき。
  - パソコンでファイル名を変更したとき。

■ インデックス画面から選ぶ

モードダイヤル

1 W側に押す

- インデックス画面に切り換わる。

2 静止画を選ぶ

- 橙色の枠を、再生したい静止画に合わせせる。

内蔵メモリー/カードを切り換える（HF10のみ）

インデックス画面をページごと送るとき

[W] または [T] を押し続ける。

- インデックス画面全体に枠が出る。

内蔵メモリーとカードを切り換えるとき（HF10のみ）

- 表示するメモリーを切り換える（📖 39）。

3 (SET) を押す

- 選んだ1枚の静止画が画面に出る。

写真を消す 静止画消去

ひとつの写真を消す

1 SET を押す

- 操作案内が出る。

2 静止画消去を選ぶ

❶ 下（🗑）に押す。

❷ 右に押して「消去」を選ぶ→ SET を押す。

すべての写真をまとめて消す

1 押す

2 静止画全消去を選ぶ

❶ 上下に押して ☰（メニュー）→「メモリー実行」を選ぶ→ SET を押す。

❷「静止画全消去」を選ぶ→ SET を押す。

❸ 上下に押して「はい」を選ぶ→ SET を押す。

- 現在、表示中のメモリーの静止画がすべて消える（HF10のみ）。

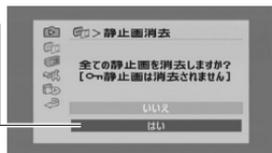
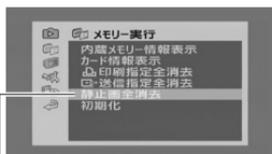
3 押す

- **一度消した静止画は元に戻せません。消す前に静止画を確認してください。**
- プロテクトされている静止画は消せません。

写真　かんたんに見る（基本編）

写真を拡大して見る　再生ズーム

モードダイヤル

静止画を再生中に、T側に押すと最大5倍まで拡大できます。拡大した静止画を縮小したいときはW側に押します。拡大できない静止画のときは、 が表示されます。

静止画を上下左右に動かす

拡大した後、静止画を上下左右に移動できます。

上下左右に動かすと静止画が動く。

画面の拡大をやめる

拡大表示ワクが消えるまでW側に押し続けます。

この枠が消えるまで押し続ける。

フラッシュを使う

フラッシュを使うと、暗いところで静止画をきれいに撮影できます。また、暗いところで人物を撮影したときに目が赤く写る現象を軽減することもできます。

1 SET を押す

- 操作案内が出る。⚡が表示されないときはジョイスティックを下に押す。

2 押す

- 左に押すたびに表示が変わる。
- ⚡A は約4秒後に消える。

⚡A	オート	被写体の明るさによって、自動で光る。
👁	赤目緩和オート	赤目緩和用にミニビデオライトが点灯し、フラッシュが自動で光る。
⚡	強制発光	被写体の明るさに関係なく光る。
⊘	発光禁止	光らない。

3 浅く押し続け、深く押す

- 浅く押し続けるとピントが合う。

フラッシュが発光しない場合

- ■ ⚡ᴬ と ◎ の場合に露出を固定したとき。
- ■ ドライブモードでAEBを選んでいるとき。
- ■ FUNC.メニューで撮影モードを「打上げ花火」に設定しているとき。

AF補助光について

PHOTOボタンを浅く押したときに、被写体が暗くてピント合わせができない場合は、被写体を照らすためにミニビデオライトが点灯することがあります（AF補助光）。AF補助光は点灯しないようにすることもできます（📖 70）。なお、AF補助光が点灯しても、自動ではピントが合わないことがあります。

- フラッシュで撮影できる距離は、約1〜2mです（撮影条件により距離は変わります）。
- 連写のときはフラッシュの光量が減るため、被写体に近づいて撮影することをおすすめします。
- ◎ では、写される人が赤目緩和用のミニビデオライトを見る必要があります。赤目緩和効果の度合は、写される人との距離によって異なり、また、個人差があります。
- 露出を固定したときは、フラッシュの設定を変更できません。
- 別売のワイドコンバーター、テレコンバーターを取り付けたときは、影が映るため、フラッシュは使わないことをおすすめします。

連写する

ドライブモード

運動会で走る子供を連続して静止画で記録したり、子供の表情を自動的に3段階の明るさにして撮ったりできます。撮影モードをFUNC.メニューの「打上げ花火」に設定しているときは操作できません。

モードダイヤル　かんたん　応用

FUNC.

1 押す

2 設定する内容を選ぶ

❶ 上下に押して□を選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

□	単写	1枚の静止画を撮影。
	連写	連続撮影。
	高速連写	高速の連続撮影。
	AEB	標準、暗め、明るめの順で3枚の静止画を連続撮影。撮影後、最適な明るさを簡単に選べる。

FUNC.

3 押す

PHOTO

4 浅く押す

- ピントを合わせる。

PHOTO

5 連写/高速連写の場合　深く押し続ける

AEBの場合　深く押す

1回の連写で記録できる最大枚数の目安

1秒あたりの記録枚数			連続記録可能枚数
連写	高速連写	フラッシュ使用時	
約3枚	約5枚	約2.1枚	60 枚

* 枚数は撮影条件や被写体によって変わります。スローシャッター（1/30秒以下）のときは、1秒あたりの連写枚数が少なくなります。

● AEBはAuto Exposure Bracketing（オート エクスポージャー ブラケッティング）の略。

ビデオを撮りながら写真も撮る　同時記録

動画撮影中または撮影一時停止中に、静止画を記録できます。静止画の画質やサイズは選べます。

1 撮影一時停止中 押す

2 サイズを選ぶ

❶ 上下に押して OFF を選ぶ。
❷ 左右に押していずれかを選ぶ→ SET を押す。
● 静止画は16：9で記録される。

記録できる枚数の目安

3 画質を選ぶ

いずれかを選ぶ。

4 押す

5 撮影中 撮影一時停止中 押す

● 静止画が記録される。

MEMO
- デジタルエフェクト実行中やデジタルズームを使用しているときは、同時記録できません。
- 高画質での記録は静止画記録モードをおすすめします。
- 静止画は、メニューの「静止画記録」で記録先として選んだメモリーに記録されます（HF10のみ）。

明るさの調整のしかたを選ぶ　測光

通常、カメラは被写体に当たる光を自動的に測って、撮影する明るさを決めます。夕闇に映し出されたタワーを画面の中央におさめて、きれいに撮るときには「中央部重点平均測光」を使います。被写体に応じて、光の測定方法を選択できます。

モードダイヤル　かんたん　応用

FUNC.

1 押す

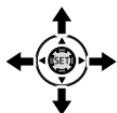
2 目的の測光のしかたを選ぶ

❶ 上下に押して[評価測光]を選ぶ。
❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

評価測光	ふだんの撮影のときに適している。画面内を分割して測光する。被写体の位置や明るさ、背景、順光、逆光など複雑な光の要素を本機が判断し、被写体を常に適正な明るさにする。
中央部重点平均測光	画面全体の明るさのバランスをとりながら、中央の被写体に明るさを合わせたいとき。画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光する。
スポット測光	画面中央の被写体に明るさを合わせたいとき。画面中央の枠（[　]）内を測光する。

3 押す

順番に再生する　スライドショー

撮った静止画を順番に再生します。テレビにつないで家族や友人と見るときなどに便利です。

1 静止画を選ぶ

- スライドショーを始める静止画を選ぶ。

2 押す

スライドショーが始まる。

スライドショーを止めるとき

■ ボタンを押す。

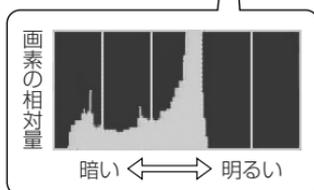
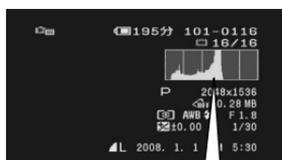
写真の明るさを図で確認する

ヒストグラム

撮影した静止画の明るさを確認して、撮影するときの明るさの目安にしましょう。この明るさの図を「ヒストグラム」といいます。画素の相対量が図の右側に多いと明るく、左側に多いと暗いことを表しています。ヒストグラムの表示は、DISP.ボタンを押して消せます。

モードダイヤル

1 押す

- 押すたびに表示が切り換わる。ヒストグラムなどのすべての表示→記録枚数、日時、画質などの表示→画面表示なし。

- ヒストグラムは静止画記録モード時、メニューで設定した静止画確認時間中にも表示されます。（記録直後にDISP.ボタンを押して、画面表示を消している場合を除く）

写真でも使える便利機能

静止画記録時でも、動画のときと同じようにズームやセルフタイマーを使ったり、明るさを調整したりできます。

34

拡大して撮る

ズーム

光学ズームによって12倍まで拡大して撮影（望遠撮影）できます。

36

撮影チャンスを逃さない

クイックスタート

液晶画面を閉じると省エネ状態で待機します。再び開くと、約1秒で撮影可能状態に戻ります。

50

場面に合わせて撮る

スペシャルシーンモード（SCN）

海に沈む夕日や夜空を彩る打上げ花火など、場面に合わせてきれいに撮影します。

52

動きの速いものを撮る
背景をぼかして撮る

シャッタースピード/しぼり

被写体に合わせてシャッタースピードやしぼり値を調整できます。

54

暗いところで撮る

ミニビデオライト

暗いところで撮影する場合、ミニビデオライトを使って被写体を明るく撮影できます。

55

セルフタイマーを使う

PHOTOボタンを押してから約10秒後に撮影されます。自分自身を撮影するときなどに便利です。

56
明るさを調整する
露出

逆光時や、強い光が当たる被写体を撮影するときなどは明るさの調整をします。

57
ピントを合わせる
フォーカス

夜景など自動でピントが合いにくい被写体を撮影するときは手動でピントを調整します。

58
色合いを調整する
ホワイトバランス

撮影時の光に関係なく「白いものを白く」写すように色調整することができます。

60
好みの画質にする
画質効果

コントラストを付けたり、肌をなめらかに表現したりするなどの効果を付けて撮影できます。

61
場面の切り換えと特殊効果
デジタルエフェクト

シロクロやセピア色にして、思い出の静止画にひと工夫加えることができます。

69
メニューの設定を変える

さまざまな機能がメニューから設定できます。設定方法は69ページに、機能紹介は70ページ以降をご覧ください。

映像を写真として切りとる あとからフォト

撮影した映像から、気に入った一場面を静止画として切りとれます。記録される静止画サイズは1920×1080です。画質は選べます。テレビタイプを16:9に設定したとき(📖 77)に使用できます。

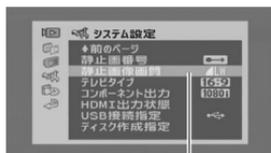
モードダイヤル

1 押す

2 静止画の画質を選ぶ

❶ 左右に押して ☰（メニュー）→「システム設定」を選ぶ→ SET を押す。

❷ 上下に押して「静止画像画質」を選ぶ→ SET を押す。

❸ 上下に押していずれかを選ぶ→ SET を押す。

3 押す

4 押す

- 再生が始まる。
- 記録したい場面でもう一度スタート/ストップボタンを押して再生一時停止にする。

5 深く押す

- 動画を撮影したときの日付や時刻が、静止画の撮影日時として設定されます。
- 動きの速い映像を静止画として切りとると、ブレた静止画になることがあります。
- 静止画は、メニューの「静止画記録」で記録先として選んだメモリーに記録されます(HF10のみ)。

写真を保護する 画像プロテクト

大切な静止画を誤って消さないように保護します。

1 押す

2 プロテクトを選ぶ

❶ (画像プロテクト)を選ぶ→ SET を押す。

❷ SET を押す。

● が出る。

画像プロテクト 122分 101-0119 19/19 SET FUNC.

他の静止画を保護するとき

左右に押して、 SET を押す。

設定を解除するとき

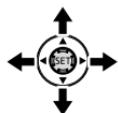
❷ でもう一度 SET を押す。

3 2回押す

● プロテクト設定をしても、メモリーを初期化するとすべてのデータは消えます。

写真をコピーする HF10

内蔵メモリーとカードの間で静止画をコピーできます。コピーは両方向できます。

■ ひとつの写真をコピーする

1 コピーする静止画を選ぶ

● 静止画の1枚表示画面でコピーする静止画を選ぶ。

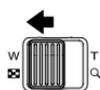
2 押す

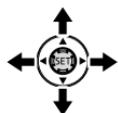
3 コピーする

❶ (コピー)を選ぶ→ SET を押す。

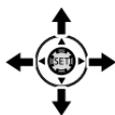
❷「はい」を選ぶ→ SET を押す。

4 押す

■ すべての写真をまとめてコピーする

1 W側に押す

● インデックス画面に切り換わる。

2 コピーする写真があるメモリーを選ぶ

● 内蔵メモリーまたはカードを選ぶ。

● 1枚の静止画をコピーする場合、コピーする静止画を選ぶ。

3 押す

写真

編集する

4 コピーする

❶ (コピー)を選ぶ→ SET を押す。

❷「全ての静止画」を選ぶ→ SET を押す。

❸「はい」を選ぶ→ SET を押す。

中止するとき

SET を押す。

❹ SET を押す。

1枚の静止画をコピーするとき

❷で「1枚」を選ぶ→ SET を押す。

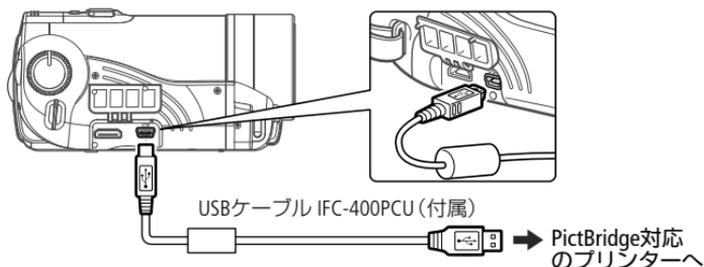
5 押す

- アクセスランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
- カードカバーを開けない。
- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
- モードダイヤルを切り換えない。

- コピー先の空き容量が足りない場合、コピーは中断されます。
- カードカバーがあいている、カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっている、などのときはカードへコピーできません。

写真を印刷する

本機に直接、別売のPictBridge対応プリンターを接続できます。パソコンなしで簡単な操作で印刷できます。印刷指定すると連続で印刷できます（📖 112）。
キヤノン製プリンターの場合は、PictBridge対応のSELPHY CP/ES/DSシリーズやPIXUSシリーズを使用できます。

■ プリンターとつなぐ PictBridge

1 本機 ▶ にする

2 プリンター 電源を入れる

3 本機とプリンターをつなぐ

「接続機器を選択してください」が出たとき

「パソコンなど」を選び、SET を押す。

- 本機の画面に ⇔ が点滅した後、PictBridgeマーク が出る。
- 印刷ボタン（イージーダイレクト）ボタンが点灯し、現在の印刷設定が約6秒間画面に出る。

- 操作3で が約1分以上点滅し続ける場合、または が出ない場合は、ビデオカメラとプリンターから接続ケーブルを抜き、電源を入れ直してからつないでください。
- 静止画全消去中や印刷指定/送信指定の全消去中は、プリンターにつないでも認識されません。

- 印刷できない静止画のときは が表示されます。
- 本機にコンパクトパワーアダプターをつないで使うことをおすすめします。
- プリンターの説明書もあわせてご覧ください。
- DVDライターを使用しない場合は、メニューの「USB接続指定」を「パソコンなど」にすると、プリンターとつないだときに「接続機器を選択してください」が出なくなります。

■ 簡単に1枚印刷する

静止画を選んでそのまま1枚印刷するときは、 ボタンを押すだけで印刷できます。

1 印刷する静止画を選ぶ

2 押す

- 印刷が始まり、正常に終了すると再生画面に戻る。
- 印刷中は ボタンが点滅し、終了すると点灯。

続けてほかの静止画を印刷するとき

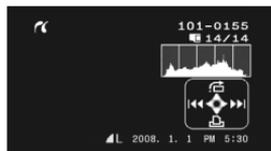
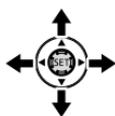
左右に押して静止画を選ぶ。

■ 用紙や枚数などを選んで印刷する

1 操作案内が出ていないとき
SET を押す

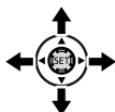
● 操作案内が出る。

2 下（ ）に押す

● 印刷設定画面が出る。

3 設定する項目を選び、SET を押す

用紙設定	用紙サイズ	プリンターによって異なります。
	用紙タイプ	フォト、高級フォト、標準設定、普通紙
	レイアウト	フチなし*1、フチあり、2/4/8/9/16面配置、標準設定
（日付印刷）		入、切、標準設定
（画像補正-イメージオプティマイズ）*2		入、切、VIVID*3、NR、VIVID+NR*3、標準設定
（印刷枚数）		1～99枚

*1 撮影した静止画より若干拡大され、静止画の上下、左右をカットして印刷されることがある。
*2 画像補正機能（イメージオプティマイズ）付きプリンターを使うときのみ
*3 キヤノン製プリンターPIXUS/SELPHY DSシリーズをお使いの場合のみ

4 設定内容を選び、SET を押す

5 「印刷」を選び、SET を押す

- 印刷が始まり、正常に終了すると再生画面に戻る。

続けてほかの静止画を印刷するとき

左右に押して静止画を選ぶ。

印刷を中止するとき

印刷中に SET を押す。確認画面が出たら、「OK」を選び、SET を押す。

印刷が終了したとき

1. USBケーブルを本機とプリンターから抜く
2. 本機の電源を切る

写真を印刷する

印刷中に異常が発生したとき

「用紙がありません」、「用紙が詰まりました」、「インクがありません」などのお知らせ表示が本機の画面に出るので、トラブルを解決する。

キヤノン製のPictBridge対応プリンターの場合

以下のいずれかの操作をする。

- ジョイスティックで[続行]を選んで SET を押す。
- [中止]を選んで SET を押して印刷し直す。

上記操作をしても再開しない場合

USBケーブルを抜き差しした後、本機の電源を入れ直す。

- 他機で記録や作成・加工したり、ファイル名を変更したりした静止画は、PictBridge対応のプリンターで正しく印刷されないことがあります。
- 本機とプリンターをつないでいるときに、「処理中...」が長時間表示される場合、USBケーブルを一度抜き、つなぎ直してください。

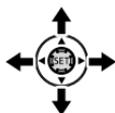
- 設定内容は接続するプリンターによって異なります。「標準設定」は、お使いのプリンターであらかじめ設定されている内容です。詳細については、プリンターの説明書をご覧ください。

「用紙設定」の「レイアウト」で設定できる配置（キヤノン製プリンター）

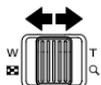
	カード	L判	はがき	A4
PIXUS/SELPHY DSシリーズ	—	—	2/4/9/16面配置（専用のシール紙にも印刷可能）	4面配置
SELPHY ES/CPシリーズ	2/4/8面配置（8面配置のとき専用のシール紙にも印刷可能）	2/4面配置	2/4面配置	

* SELPHY CPシリーズの場合は、ワイド用紙を使用して「標準設定」を選ぶと、2/4面配置ができます。

印刷する範囲を選ぶ　トリミング

用紙設定などの印刷設定（📖 108）を行った後に、トリミングを設定します。
トリミングは、1枚の静止画のみに設定できます。

1 トリミングを選ぶ

「トリミング」を選ぶ→ SET を押す

● 緑の枠が出る。

2 W/T側に押す

● 印刷される枠の大きさが変わる。

縦長と横長を切り換えるとき

SET を押す。

トリミングを解除するとき

枠を最大にして、さらにズームレバーをW側に押す。

3 上下左右に押す

● 枠が移動する。

4 押す

● トリミングが設定され、印刷設定画面の静止画に緑の枠が出る。
● 印刷するときは109ページの操作5をご覧ください。

トリミングの設定が解除される場合

- 本機の電源を切る。接続ケーブルを抜く。
- トリミングの枠を、最大より大きくする。
- 用紙サイズを変える。

● 他機から取り込んだ静止画はトリミングできないことがあります。

印刷する写真を選ぶ

印刷設定

印刷したい静止画と枚数を指定できます。998枚までの静止画に印刷指定できます。PictBridge対応のプリンターで自動印刷できます。本機にUSBケーブルをつなぐ前に、操作をしてください。

設定する

1 押す

2 印刷指定を選ぶ

(印刷指定)を選ぶ→ SET を押す。

3 枚数を選ぶ

❶ SET を押す。

● 枚数が橙色になる。

❷ 上下に押して枚数を選ぶ→ SET を押す。

印刷指定を解除するとき

❷で枚数を「0」にする。

4 2回押す

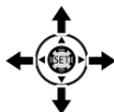
印刷する

1 本機とプリンターをつなぐ（📖 106）

2 押す

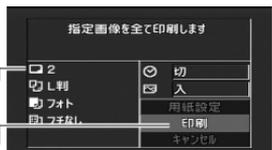
3 印刷を選ぶ

☰（メニュー）→「➡ 印刷」を選ぶ→ SET を押す。

- 印刷設定画面が出る。
- 印刷指定をしていないときは、「 印刷指定が必要です」が出る。

4 印刷する

- 印刷指定による全印刷枚数が出る。

「印刷」を選ぶ→ SET を押す。

- 印刷が始まり、終了すると再生画面に戻る。

- 接続するプリンターによっては、操作3の後に、用紙設定などの印刷設定ができます（📖 108）。

印刷を中止するとき（📖 109）

印刷を再開するとき

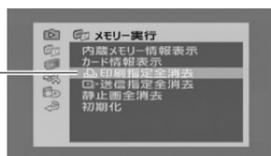
- FUNC.ボタンを押し、☰（メニュー）→「➡ 印刷」を選びます。印刷設定画面から「印刷」（1枚目で中断したとき）または「再開」（2枚目以降で中断したとき）を選び、SET を押すと、残りの静止画が印刷できます。
- 印刷を再開する前に印刷指定を変更したり、印刷指定をした静止画を消した場合は再開されません。

■ すべての印刷指定を消す

1枚の静止画を再生している時に操作します。

1 押す

2 印刷指定全消去を選ぶ

❶ (メニュー)→「メモリー実行」→「印刷指定全消去」を選ぶ→ SET を押す。

❷「はい」を選ぶ→ SET を押す。

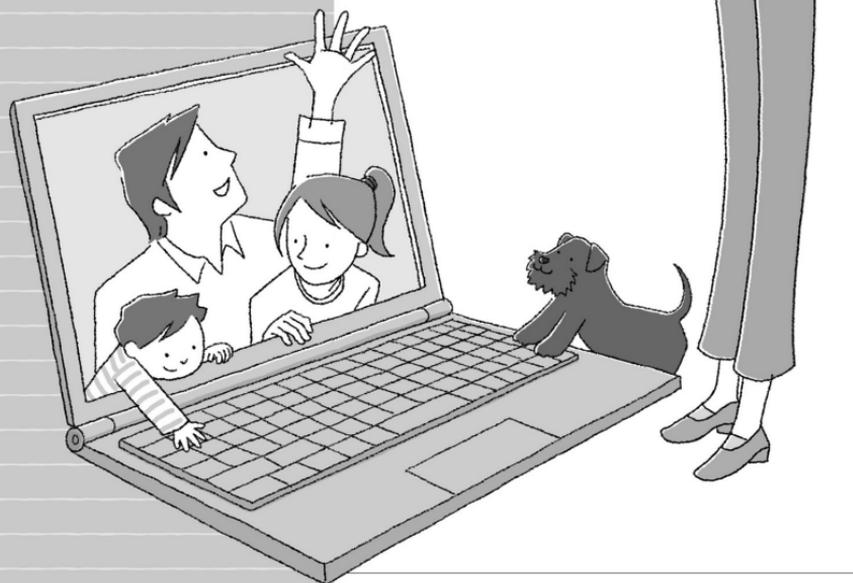
● すべての印刷指定が消える。

3 押す

Chapter

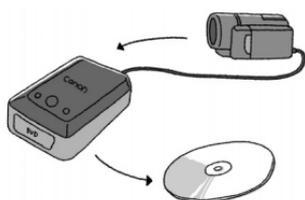
4

保存

Copying and Backing up Movies/Photos

映像をバックアップする

撮影した映像は内蔵メモリー*やカードに記録されます。万一に備えてパソコンにバックアップしましょう。
*HF10のときのみ

モードダイヤル

シーンを選んでバックアップする
付属のPIXELA ImageMixer 3 SE（以下、ImageMixer 3）を使うと、シーンを選んでパソコンにバックアップできます。詳しくはImageMixer 3の取扱説明書をご覧ください。

パソコンがない場合は
次の方法で保存できます。
- DVDライター（別売）を使用してハイビジョンのDVDに保存（📖 117）
- ビデオ機器、DVD/HDD機器にダビングして保存（📖 122）

- パソコンに接続しているときは、カードカバーを開けたり、カードを抜き差ししないでください。
- 本機に接続したパソコンから本機のメモリー内のフォルダー/ファイルを直接操作すると、記録したデータが破損する恐れがあります。映像データをパソコンに保存したり、本機に書き戻したりするときは、付属のImageMixer 3を使って行ってください。

- バックアップした映像を本機に書き戻すこともできます。また、ImageMixer 3のアルバムに追加することもできます。詳しくは、ImageMixer 3の取扱説明書をご覧ください。

保存

ハイビジョンDVD/フォトDVDを作る

DVDライターDW-100（別売）を使って、大切な映像を高画質のままハイビジョンのディスク（AVCHD規格）に保存できます。また、本機で撮った静止画をDVDに保存することもできます（フォトDVD）。本書とDVDライターの説明書をあわせてご覧ください。

USBケーブル（付属）

本機にコンパクトパワーアダプターをつないで操作してください。

モードダイヤル

1 本機 電源を入れ、▶ にする

フォトDVDを作るとき

▶ にする。

2 本機 内蔵メモリー*/カードを切り換えて、保存するデータがあるインデックス画面を出す

（*HF10のみ）

- フォトDVDを作るときは、静止画の1枚表示画面からも操作できる。

3 本機 ディスクに保存するデータを指定する

❶ FUNC. ボタンを押す。

❷ ☰（メニュー）→「システム設定」→「ディスク作成指定」を選ぶ→ SET を押す。

参考 ▶▶ メニューの「ディスク作成指定」（📖 77）

システム設定
前のページ
静止画番号
静止画像画質
テレビタイプ
コンポーネント出力
HDMI出力状態
USB接続指定
ディスク作成指定

❸「全シーン」、「未作成シーン」または「プレイリスト」を選ぶ→ SET を押す。

フォトDVDを作るとき

「全ての静止画」または「送信指定静止画」を選ぶ。

❹ FUNC. ボタンを押す。

4 DVDライター 電源を入れる

参考 ▶▶ DVDライター使用説明書の「DVDを作成する」

5 本機とDVDライターを接続する

付属のUSBケーブル

参考 ▶▶ DVDライター使用説明書の「接続する」

「接続機器を選択してください」が出たとき

「DVDライター」を選ぶ→ SET を押す。

- 「ディスクがありません」が出る。

6 DVDライター 未使用のディスクを入れる

❶ OPEN/CLOSEボタンを押して、ディスクトレイを開く。

❷ 未使用のディスクを入れる。

❸ OPEN/CLOSEボタンを押して、ディスクトレイを閉じる。

- 本機の画面に確認画面が出るので、予想時間や必要なディスク枚数などを確認し、ディスクを準備する。

「使用済み-RWディスクです」が出たとき

上書きするときは、SET を押す→「はい」を選ぶ→ SET を押す。

- 上書きすると記録されていたデータはすべて消去されます。

7 DVDライター スタートボタンを押す

- 本機の画面に書き込み状況が出る。
- スタートボタンを押してディスクの作成を開始した後は中止できません。

「未使用のディスクを入れてディスクトレイを閉じてください」が出たとき

❶ 未使用のディスクを入れる。

❷ OPEN/CLOSEボタンを押してディスクトレイを閉じる。

保存

● 「終了しました」が出たらディスクを取り出してディスクトレイを閉める。

同じディスクをもう1枚作るとき

未使用のディスクを入れてディスクトレイを閉める。

● DVDライターと接続しているときは、カードカバーを開けたり、カードを抜き差ししないでください。
● ビデオカメラのアクセスランプが点滅しているときは、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  ■ カードカバーを開けない。
  ■ USBケーブルを抜かない。
  ■ 本機やDVDライターの電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  ■ モードダイヤルを切り換えない。
● 作成したハイビジョンのディスクは、AVCHD規格に対応した機器でのみ再生できます。対応していない機器にディスクを入れないでください。ディスクを取り出せなくなることがあります。
● ディスクの取り扱い上のご注意やDVDライターの操作については、DVDライターの説明書をご覧ください。

■ ハイビジョンDVDを見る

本機とDVDライターDW-100（別売）を使って、ハイビジョンのディスクを再生できます。ハイビジョンテレビにつないで、高精細なハイビジョン映像をお楽しみください。本書とDVDライターの説明書をあわせてご覧ください。

USBケーブル（付属）
HDMIなど*
* 本機とテレビの接続については、46ページをご覧ください。

モードダイヤル

1 本機とテレビを接続する

2 本機 電源を入れ、▶ にする

3 DVDライター 電源を入れて「再生モード」に切り換える

参考 ▶▶ DVDライター使用説明書の「DVDを再生する」

付属のUSBケーブル

4 本機とDVDライターを接続する

参考 ▶▶ DVDライター使用説明書の「接続する」

「接続機器を選択してください」が出たとき

「DVDライター」を選ぶ→ SET を押す。

5 DVDライター 再生するディスクを入れる

- ディスクの内容がインデックス画面に出る。

保存

6 本機 見たいシーンを再生する

- DVDライターと接続しているときは、カードカバーを開けたり、カードを抜き差しししないでください。

- DVDライターDW-100で作成したハイビジョンのディスクが再生できます。
- DVDライターと接続中は、メニューやFUNC.メニューは使用できません。
- コマ送りやスロー再生、60倍の早送り/早戻しなど一部の再生機能は使用できません。

■ フォトDVDを見る

フォトDVDに作成したフォトムービーは、DVD-Video規格に対応したDVDプレーヤーやDVDレコーダーで再生できます。また、フォトDVDに保存した静止画はパソコンで読み込むことができます。
フォトムービーはAVCHD規格ではありません。

ほかのビデオ機器へ録画する

本機で撮った動画を映像/音声端子付きのビデオ機器にダビングできます。ハイビジョンで記録した動画は、標準画質としてダビングされます。

■ 接続する

再生側（本機）

録画側

ビデオ機器

入力

R

音声

L

映像

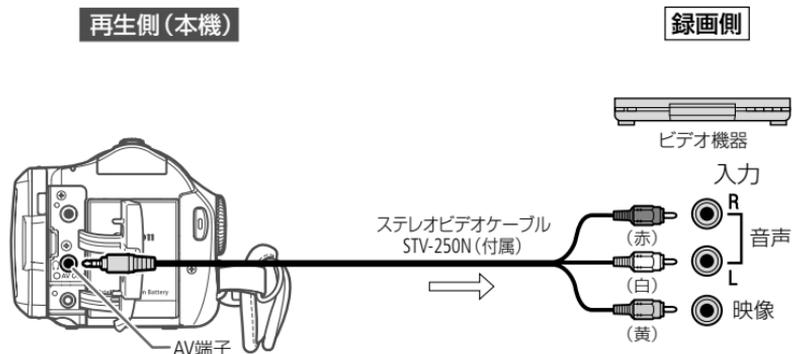
ステレオビデオケーブル
STV-250N（付属）

（赤）

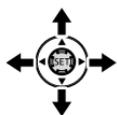
（白）

（黄）

AV端子

保存

■ 操作する

1 本機 にする

2 録画機 録画一時停止状態にする

3 本機 再生を始めるシーンを選ぶ

4 本機 押す

- 再生が始まる。
- 本機に表示される日時やカメラデータを入れて録画できる。DISP.ボタンを押すたびに、表示が切り換わる（63）。

5 録画機 録画を開始する場面で、録画を始める

6 録画機 録画を終える

7 本機 押す

- 再生が終わる。

- コンパクトパワーアダプターをつないで使うことをおすすめします。

パソコンに写真を取り込む

ダイレクト転送

付属のUSBケーブルとDigital Video Softwareを使うと、🖨〜（イージーダイレクト）ボタンを押すだけで、簡単に静止画をパソコンに転送できます。

■ 準備する

はじめてビデオカメラをパソコンにつなぐときには、ソフトウェアのインストールと自動起動の設定が必要です。2度目からは、ビデオカメラをパソコンにつなぐだけで、準備は完了です。

1 パソコンにDigital Video Softwareをインストールする

参考 ▶▶ DIGITAL VIDEO Solution Diskスタートガイド

2 取り込む静止画があるメモリーの画面に切り換える

- パソコンに取り込みたい静止画がある、内蔵メモリー*/カードのインデックス画面に切り換える（*HF10のみ）。

付属のUSBケーブル

3 本機とパソコンをつなぐ

参考 ▶▶ DIGITAL VIDEO Solution Diskの中にある使用説明書の「ビデオカメラをパソコンに接続する」

「接続機器を選択してください」が出たとき

「パソコンなど」を選び、(SET) を押す。

Windowsのとき

接続ソフトウェア「CameraWindow」が自動で起動するようにパソコンで設定する。

参考 ▶▶ DIGITAL VIDEO Solution Diskの中にある使用説明書の「CameraWindowを起動する」

- ビデオカメラの画面にダイレクト転送メニューが出て、🖨〜ボタンが点灯。

保存

ご注意

- パソコンに接続しているときは、カードカバーを開けたり、カードを抜き差ししないでください。
- ビデオカメラのアクセスランプが点滅しているときは、データが破損することがありますので、次のことを必ず守ってください。
  - カードカバーを開けない。
  - USBケーブルを抜かない。
  - 本機やパソコンの電源を切らない。
  - モードダイヤルを切り換えない。
- 使用するソフトウェア、パソコンの仕様/設定などによっては、正しく動作しないことがあります。
- 大切な元のデータを消さないために、静止画は必ずパソコンにコピーし、コピーした静止画をパソコンで使用してください。
- 静止画全消去中や印刷指定/送信指定の全消去中は、パソコンにつないでも認識されません。

MEMO

- 本機にコンパクトパワーアダプターをつないで使うことをおすすめします。
- パソコンの説明書もあわせてご覧ください。
- Windows Vista、XPとMac OS Xをお使いの場合、付属のDigital Video Softwareをインストールしなくても、本機とパソコンをUSBケーブルでつなぐだけで静止画をパソコンに取り込めます。
- DVDライターを使用しない場合は、メニューの「USB接続指定」を「パソコンなど」にすると、パソコンをつないだときに「接続機器を選択してください」が出なくなります。

■ 静止画を転送する

1 転送方法を選ぶ

転送方法を選ぶ。

全画像	すべての静止画。
未転送画像	まだ転送していない静止画。
送信指定画像	送信指定した静止画（127）。
画像を選んで転送	静止画を選んで転送。
パソコンの背景	パソコンのデスクトップの背景にする静止画。

「画像を選んで転送」「パソコンの背景」のとき

❶ SET を押す。
❷静止画を選ぶ。

2 押す

- 全画像、未転送画像、送信指定画像：転送された静止画がパソコンの画面に出る。転送を中止するときは、SET（キャンセル）を押す。
- 「画像を選んで転送」の場合は転送された静止画がパソコンの画面に出る。
  「画像を選んで転送」、「パソコンの背景」の場合、続けて他の静止画を選ぶときは操作1の❷〜操作2を繰り返す。
- 「画像を選んで転送」、「パソコンの背景」の場合、転送中は ボタンが点滅する。
- FUNC.ボタンを押すと、操作1の画面に戻る。

- ビデオカメラとパソコンをつないだときに、静止画を選ぶ画面が出た場合は、FUNC.ボタンを押してください。ダイレクト転送メニューになります。

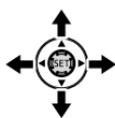
保存

パソコンに送る写真を選ぶ

送信指定

パソコンに転送する静止画を指定できます。998枚までの静止画に送信指定できます。本機とパソコンをUSBケーブルで接続する前に、操作をしてください。

設定する

モードダイヤル

1 転送する静止画のある画面に切り換える

- パソコンに転送したい静止画がある内蔵メモリー*/カードの画面に切り換える（*HF10のみ）。

2 押す

3 送信指定を選ぶ

❶ （送信指定）を選ぶ→ SET を押す。

❷ SET を押す。

- ☑ が出る。

他の静止画を指定するとき

ジョイスティックを左右に押して、SET を押す。

設定を解除するとき

❷でもう一度 SET を押す。

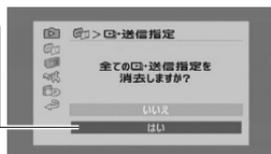
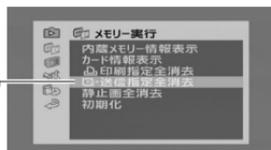
4 2回押す

- 送信指定した静止画をパソコンに転送する（📖 126）。

■ すべての送信指定を消す

1 押す

2 送信指定全消去を選ぶ

❶ (メニュー)→「メモリー実行」→「送信指定全消去」を選ぶ→ SET を押す。

❷「はい」を選ぶ→ SET を押す。

3 押す

Chapter

5

ふろく

Additional Information

故障かな？

修理に出す前に下記のことをもう一度確認してください。それでも直らないときは、キヤノンサービスセンターまたはご購入になった販売店にご相談ください。

まずココを確認しよう！

電源

- □ バッテリーは充電されていますか？（□ 20）
- □ 本機はコンパクトパワーアダプターで正しく接続されていますか？（□ 20）

撮影するとき

- □ 電源を入れてモードダイヤルを 🎥 または 📷 にしていますか？（□ 32）
- □ カードに記録する場合は、本機にカードが入っていますか？（□ 27）

再生するとき

- □ 電源を入れてモードダイヤルを ▶ または ▶ にしていますか？（□ 38）
- □ カードから再生する場合は、本機にカードが入っていますか？（□ 27）

■ 電源

こんなときは	どうするの？	□
電源が入らない。 途中で電源が切れる。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	20
バッテリーが充電できない。	● バッテリーの温度が40℃以上になっている。バッテリーを放置して、40℃以下になってから充電を開始する。 ● 周囲が0℃～40℃の温度のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。	21

コンパクトパワーアダプターから音がする。	●コンパクトパワーアダプターを使用中に小さな音がすることがある。故障ではない。	–
長時間使うと熱くなる。	●長時間使いつづけると熱くなることがあるが、そのまま使用しても問題ない。短時間で熱くなったり、異常に熱いときは故障の可能性がある。修理受付センターにご相談ください。	–
常温でバッテリーの消耗が極端に早い。	●バッテリーの寿命と考えられる。新しいバッテリーを購入する。	–

■ 撮影中

スタート/ストップボタンを押しても録画しない。	●撮影した映像を本機に書き込んでいる間は録画できない。 ●メモリーに空き容量がない。または撮影できるシーン数を超えている。不要なシーンや静止画を消すか、初期化する。	– 44 90 29
スタート/ストップボタンを押した時点と、記録されたシーンの始めと終わりの時点が異なる。	●スタート/ストップボタンを押してから、実際に録画が始まったり終わったりするまでに、時間差が多少かかることがある。故障ではない。	–
ピントが合わない。	●被写体によってはピントが自動で合いにくいことがある。手動でピントを調整する。 ●レンズやハイスピードAFセンサーが汚れているのでお手入れする。	57 155
被写体が横切るとき、被写体がゆがんで見える。	●撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く横切った場合、少しゆがんで見えることがある。故障ではない。	–
動画の「●撮影/●❚❚撮影一時停止/▶再生」の切り換えに時間がかかる。	●シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。	116 124 29

こんなときは	どうするの？	📖
直前のシーンの確認に時間がかかる。	● シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。	116 124 29
静止画が記録できない。	● FUNC.メニューの「静止画記録」を「OFF 静止画記録切」に設定している場合は、ビデオを撮りながら同時に写真を記録できない。 ● ズーム倍率がデジタルズーム領域で撮影中やデジタルエフェクト実行中は、ビデオを撮りながら同時に写真を記録できない。	96 ––

■ 再生中

こんなときは	どうするの？	📖
プレイリストに追加できない。	● プレイリストに映像が999シーンある場合は追加できない。 ● 他機で記録/編集したシーンは追加できないことがある。	––
シーンの消去ができない。	● 他機で記録/編集したシーンは消去できないことがある。	––
シーンの消去に時間がかかる。	● シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。	116 124 29
静止画を消せない。	● 静止画のプロテクト設定を解除する。	103

■ 表示やランプ

こんなときは	どうするの？	📖
画面で ▱ が赤く点灯する。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	20
画面に ▱ が出る。	● 本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、使用可能時間を表示できない。	––

□が赤く点灯する。	●カードエラー。電源を切り、カードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、カードを初期化する。 ●カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、動画または静止画を消す。	27 29 44 90
ϟが赤く点滅する。	●本機が故障している。修理受付センターにご相談ください。	–
充電ランプが速く点滅する。	●☀☀☀（0.5秒に1回の点滅） コンパクトパワーアダプター、バッテリーに異常があるため、充電が中止される。修理受付センターにご相談ください。	–
充電ランプがゆっくりと点滅する。	●☀……☀（2秒ごとに1回の点滅） バッテリーの温度が40℃以上になっている。バッテリーを放置して、40℃以下になってから充電を開始する。 ●周囲の温度が0℃～40℃のときに充電する。 ●バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。	21
充電中に充電ランプが消灯する。	●本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、充電できない。	–

■ 画面や音

画面がついたり消えたりを繰り返す。	●バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ●バッテリーを正しく取り付け直す。	20
画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	●電源を取りはずし、しばらくしてから取り付ける。それでも解決しない場合は、電源を取りはずし、先のとがったものでRESET（リセット）ボタンを押す。すべての設定が解除される。	17
画面にノイズが出る。	●プラズマテレビや携帯電話などから離して本機を使用する。	–

こんなときは	どうするの？	📖
画面に横帯が見える。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、撮影時の照明によっては横帯が見えることがある。かんたんモードにすると軽減する。故障ではない。	33
音がひずんだり、実際より小さく記録される。	● 大きな音の近く（打上げ花火やコンサートなど）で撮影すると、音がひずんだり、実際より小さく記録されることがある。メニューの「マイクATT」を「入」にするか、録音レベルを手動で調整すると適切に録音できることがある。	73 64
映像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	● スピーカーの音量が「切」になっているので、音量を調整する。 ● ステレオビデオケーブルをはずす。	38
本機からカタカタ音がする。	● 電源を切ったときに内部のレンズが動く音で、故障ではない。	－

■ アクセサリー

こんなときは	どうするの？	📖
カードが入らない。	● 正しい向きでカードを入れる。	27
カードに記録できない。	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要な動画/静止画を消す。 ● はじめて使用するときは、カードを初期化する。 ● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、反対側にする。 ● 静止画番号が最大になっていて、カードに記録できない。新しいカードを入れて、メニューの「静止画番号」を「オートリセット」にする。 ● FUNC.メニューの「静止画記録」を「OFF 静止画記録切」に設定している場合は、ビデオを撮りながら同時に写真を記録できない。	44 90 29 27 76 96

	●メニューの「テレビタイプ」を「4:3」に設定している場合（ が出る）は、映像を静止画として切りとれない。「16:9」に設定する。	77
リモコンが動作しない。	●メニューの「リモコンセンサー」を「入」にする。 ●リモコンの電池を交換する。	76 23

■ 他機

テレビの放送画面にノイズが出る。	●テレビの近くで使用しているときは、テレビやアンテナケーブルからコンパクトパワーアダプターを離す。	－
再生しても、テレビに映像が出ない。	●テレビの設定を、接続した端子に切り換える。	46
テレビで音声が出ない。	●D端子ケーブルでテレビにつないでいる場合は、音声を出力するためにステレオビデオケーブルの白と赤のプラグもつなぐ。	47
HDMIケーブルで接続しているとき、テレビに映像や音が出ない。	●HDMIケーブルを抜き差しするか、本機の電源を入れ直す。	－
正しく接続しているのにパソコンから本機が認識されない。	●メニューの「USB接続指定」が「DVDライター」になっているときは、「接続時に選択」か「パソコンなど」にする。 ●接続ケーブルを抜き差しし、本機の電源を入れ直す。	77
正しく接続しているのにプリンターが動作しない。	●メニューの「USB接続指定」が「DVDライター」になっているときは、「接続時に選択」か「パソコンなど」にする。 ●接続ケーブルを抜き差しし、プリンターの電源を入れ直す。	77
正しく接続しているのにDVDライターが認識されない。	●メニューの「USB接続指定」が「パソコンなど」になっているときは、「接続時に選択」か「DVDライター」にする。	77

メッセージが出たら？

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。
本機を使用中のメッセージ、DVDライターを接続中のメッセージ（📖 141）、プリンターを接続中のメッセージ（📖 143）に分けて説明しています。

■ 使用中に表示されるメッセージ

メッセージ	どんな意味？	📖
カードカバーがあいています	● カードカバーがあいている。カードを入れたらカバーを閉じる。	27
カードがありません	● カードが本機に入っていない。	27
カードがいっぱいです	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、動画/静止画を消す。	27 44 90
カード シーン数がいっぱいです	● カードのシーン数がいっぱいのため、動画コピーできない。カードの不要な動画を消す。	44
カードにアクセス中です　カードを取り出さないでください	● カードにアクセスしているときに、カードカバーを開けた。または、カードカバーを開けたときにアクセスが発生した。メッセージが消えるまでカードを絶対抜かない。	27
カード読み込み中です	● カードを読み込んでいる。	–
カード 認識できない記録方式です	● テレビ方式が異なる動画をカードにコピーしようとした。	–
カードの誤消去防止ツマミを確認してください	● カードに書き込めない。カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっていないか確認する。	27
カードの修復が必要です カードの誤消去防止ツマミを解除してください	● カードに記録中に電源がはずれた後、カードの誤消去防止ツマミをLOCK側にして電源を入れると表示される。誤消去防止ツマミを反対側にする。	27

カードを確認してください	● カードにアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。 ● カードにエラーがあり、記録や再生ができない。 ●「カードを確認してください」が4秒後に消えて 🄲 が赤く点灯するときは、電源を切り、カードを出し入れする。🄲 が緑色に点灯すれば、そのまま記録や再生ができる。 ● 初期化をする。ただし初期化するとすべてのデータが消去される。	27 – 27 29
書き込みエラーがあります 他の機器で使用していなければ修復を推奨します メディアを修復しますか?	● 記録中に電源がはずれた後、電源を入れると表示される。記録中の撮影データを修復するときは[はい]を選択する。他の機器で記録したカードを入れたときは[いいえ]を選択することを推奨する。	–
画像がありません	● 再生する静止画がない。	–
かんたん モードでは使えません	● かんたんモードでは使えないボタンを押した。かんたんモードを解除して応用モードに切り換えるときは、かんたんボタンを押す。	33
記録できません	● メモリーに異常があるため、記録できない。	–
記録できません カードを確認してください	● カードに異常があるため、記録できない。	–
HF10 記録できません 内蔵メモリーにアクセスできません	● 内蔵メモリーに異常があるため、記録できない。	–
このカードでは記録できない録画モードです	● FXPはSDスピードクラス2以下のカードには記録できない。他の録画モードにするか、クラス4以上のカードを使用する。	26

メッセージ	どんな意味？	📖
このカードでは動画記録できないことがあります	● SDスピードクラスに対応していないカードを入れた。クラス2以上のカードを使用する。	26
このカードは動画記録できません	● 64MB以下のカードには動画記録できない。	26
このカードは動画記録できません 本機で初期化してお使いください	● パソコンで初期化されたカードを入れた。本機で初期化する。	29
このカードは動画再生できません	● 64MB以下のカードから動画再生できない。	26
このカードは動画再生できません 本機で初期化してお使いください	● パソコンで初期化されたカードを入れた。本機で初期化する。	29
HF10 コピーできません	● カードの空き容量がコピーサイズより小さい。カードの不要なシーンを消去するか、コピーするシーンを減らす。	44 82
コンパクトパワーアダプターを接続してください	● 本機にバッテリーのみを取り付けて動画の再生モードにし、パソコンとUSBケーブルで接続した。本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐ。	–
再生できません	● メモリーに異常があるため、再生できない。	–
再生できません カードを確認してください	● カードにエラーが発生した。	–
HF10 再生できません 内蔵メモリーにアクセスできません	● 内蔵メモリーに異常があるため、再生できない。	–

ふろく

シーンがありません	● 表示するシーンがない。	–
シーン数がいっぱいです	● 記録可能なシーン数を超えた。不要な動画を消す。	44
消去ができないシーンがありました	● 他機でプロテクト/編集されたシーンは消去できない。	–
処理中です 電源をはずさないでください	● メモリーに書き込んでいるので、電源をはずさない。	–
処理を中止しました	● 中止操作をしたため、処理を中止した。	–
スタンバイに入れません	● バッテリー残量が少なくなっているときはスタンバイに入れない。	–
静止画像が多すぎます USBケーブルをぬいてください	● USBケーブルを抜いて、静止画が1800枚未満になるまでパソコンに移動するか、不要な静止画を消す。その後、USBケーブルを接続し直す。 ● パソコンの場合、OSの設定によってはパソコンのモニターに画面が出ることがある。画面を閉じてからUSBケーブルを接続し直す。	86 –
静止画モードです	● 静止画記録時にスタート/ストップボタンを押した。	32 84
送信指定エラー	● 送信指定できる枚数（998枚）を超えたので、枚数を減らす。	127
追加できませんでした	● プレイリストには999個を越えて映像を追加できない。不要なシーンを消す。	80
データを修復できませんでした	● 壊れたデータを修復できない。	–
動画／静止画データのバックアップは　定期的に行ってください	● 万一の故障やデータ破損に備えて撮影したデータを定期的にバックアップする。	150

メッセージ	どんな意味？	📖
HF10 内蔵メモリーから動画再生できません 本機で初期化してお使いください	● 内蔵メモリーがパソコンから初期化された。本機で初期化する。	29
HF10 内蔵メモリーがいっぱいです	● 内蔵メモリーに空き容量がない。画面で「 END」が点灯。不要な動画を消す。	44
HF10 内蔵メモリーが認識できません	● 内蔵メモリーを認識できない。	–
HF10 内蔵メモリーにアクセスできません	● 内蔵メモリーに異常があるため、アクセスできない。	–
HF10 内蔵メモリーに動画記録できません 本機で初期化してお使いください	● 内蔵メモリーがパソコンから初期化された。本機で初期化する。	29
HF10 内蔵メモリー読み込み中です	● 内蔵メモリーを読み込んでいる。	–
認識できない記録方式です	● テレビ方式が異なる映像を本機に書き戻した。	–
パソコンで安全な取り外しをするまでは ・USBケーブルをぬかないでください ・電源をはずさないでください 接続中は電源OFFやモード切替はできません	● 動画再生時、本機をUSBケーブルでパソコンに接続しているときは、本機の操作はできない。本機のメモリー内のデータが破損するおそれがあるので、パソコンで安全な取り外しのための操作を行った後、USBケーブルや電源をはずしたり、本機の操作を行う。	–
バッテリーと通信できません このバッテリーを使用しますか？	● キヤノンの推奨以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。	–
バッテリーパックを取り替えてください	● バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。	20

バッファオーバーです 記録を中断しました	● カードの書き込み速度が遅いため、記録を中断した。SDスピードクラス2以上のカードを使用する。	26
ファイル名が作成できません	● フォルダー番号や静止画番号が最大になった。「オートリセット」して、カードを初期化するか、静止画をすべて消してください。	76
編集できません	● オリジナル/プレイリストのシーンの移動/消去ができなかった。	—
編集できません カードを確認してください	● パソコンで初期化されたカードを入れた。本機で初期化する。	29
本機で初期化してお使いください	● メモリーのファイルシステムに異常があるため、アクセスできない。内蔵メモリーまたはカードを本機で初期化する。	29
HF10 FXPのシーンがあるため、このカードへはコピーできません	● カードのSDスピードクラスが2以下のため、FXPの動画が記録できない。クラス4以上のカードを使用する。	26

■ DVDライター（別売）を接続しているときのみ表示されるメッセージ

メッセージの対処方法については、DVDライターの説明書もあわせてご覧ください。

メッセージ	どんな意味？
カードカバーを閉めてください	● カードカバーがあいている。カードを入れたらカバーを閉じる。
コピーが中断されました	● USBケーブルがはずれたため、ディスク作成を中断した。USBケーブルを確認する。
コンパクトパワーアダプターを接続してください	● コンパクトパワーアダプターがつながれていない。本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐ。
シーンがありません	● ディスクに保存できるシーンがない。

メッセージ	どんな意味？
静止画がありません	● ディスクに保存できる静止画がない。
送信指定がありません	● 送信指定された静止画がない。
データを修復できませんでした	● 壊れたデータを修復できない。
ディスクがありません	● ディスクを入れる。 ● 結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。
ディスクが認識できません ディスクを確認してください	● ディスク作成時に、8cmのDVDディスクや市販のDVDソフトなどを入れた。 ● ディスク再生時に、未使用のディスクや市販のDVDソフトなどを入れた。
ディスク認識中です	● ディスクを読み込んでいる。
ディスクへのアクセスに失敗しました ディスクを確認してください	● ディスクの書き込み中または読み込み中にエラーが発生した。 ● 結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。 ● ディスクを取り出してから入れ直す。
ビデオカメラから読み出せません	● ビデオカメラからデータを読み出せない。USBケーブルがはずれていないか確認する。
未作成シーンがありません	● ディスクに保存していないシーンがない。

■ プリンター接続中に表示されるメッセージ

メッセージの対処方法については、プリンターの説明書もあわせてご覧ください。

インクエラー	● インクに異常がある。インクを交換する。
インクがありません	● インクが正しく入れられていない、またはインクがない。
インクが残りわずかです	● インクの交換時期が近づいている。[続行]を選ぶと、印刷を再開する。
インク吸収体が満杯です	● お早めにお客様相談センターまたは修理受付窓口(プリンターに付属の一覧参照)に、インク吸収体の交換を依頼してください。インク吸収体はお客様ご自身で交換はできません。
印刷エラー	● 「中止」を選んで印刷を中止し、プリンターの電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直す。 ボタンを使って印刷しているときは、印刷設定を確認する。プリンターの状態を確認する。
印刷指定エラー	● 印刷指定の設定可能な静止画の枚数(998枚)を超えた。
印刷指定が必要です	● 内蔵メモリーまたはカード内に印刷指定をしている静止画がない。
印刷できない画像です	● 他機で記録したり、異なる画像タイプで記録したり、パソコンで加工した静止画を印刷しようとした。
印刷できない画像が＊枚ありました	● 他機で記録したり、異なる画像タイプで記録したり、パソコンで加工した静止画を＊枚印刷指定して印刷しようとした。
サイズを選びなおしてください	● ビデオカメラとプリンターで用紙サイズの設定が異なっている。
紙間レバー位置が不正です	● 紙間レバー位置を正しい位置に直す。

ふろく

メッセージ	どんな意味？
設定を確認してください	● ボタンを使って印刷するときに、プリンターで対応していない設定になっている。
通信エラー	● 通信中にエラーが発生した。「中止」を選んで印刷を中止し、接続ケーブルを抜いて、プリンターの電源を切る。しばらくしてから、電源を入れ直し、接続ケーブルをつなぐ。ボタンを使って印刷しているときは、印刷設定を確認する。 ● 大量の静止画が記録されたカードを使って印刷しようとした。静止画の枚数を減らす。
トリミングできない画像です	● 本機以外で撮影した静止画では、トリミングできないことがある。
トリミングの再設定が必要です	● トリミングの設定後に「用紙設定」を変更した。
ハードウェアエラー	● [中止]を選んで印刷を中止し、プリンターの電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直す。 ● プリンターの状態を確認する。
ファイルエラー	● 他機で記録したり、異なる画像タイプで記録したり、パソコンで加工した静止画を印刷しようとした。
プリンターカバーが開いてます	● プリンターのカバーを閉じる。
プリンタートラブル発生	● 修理が必要なエラーが起きている可能性がある（キヤノンのプリンターの場合、電源ランプ（緑色）とエラーランプ（オレンジ色）が交互に点滅）。接続しているUSBケーブルを抜いた後、プリンターの電源を切って電源プラグをコンセントから抜く。修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）にご相談ください。

プリンターは使用中です	● プリンターが使用中。プリンターの状態を確認する。
プリントヘッド未装着	● プリントヘッドが取り付けられていないか、プリントヘッドの不良。
用紙エラー	● 用紙に異常がある。プリンターの用紙が正しく入れられていないか、用紙サイズが間違っている。 ● 排紙トレイが閉じているときは、開ける。
用紙がありません	● プリンターに用紙が正しく入っていない、または用紙がない。
用紙が詰まりました	● 印刷中に用紙が詰まった。[中止]を選び印刷を中止する。用紙を取り除き、用紙を入れ直してから再度印刷する。

キヤノン製プリンターPIXUS/SELPHY DSシリーズについて

- プリンターのエラーランプが点滅しているときや、操作パネルや接続したテレビにエラーメッセージが出ているときは、必ずプリンターの説明書でご確認ください。
- 本書やプリンターの説明書を参考に対処をしてもエラーメッセージが表示されるときは、修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）にご相談ください。

かならずお読みください

安全上のご注意

お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

こんなときは

- 煙が出ている
- へんなにおいがする
- 落としてこわした
- 内部に水や異物が入った

▶ **バッテリーをはずして、電源プラグをコンセントから抜く**

そのまま使用すると火災や感電の原因になりますので、修理受付センターに問い合わせるか、購入販売店に修理を依頼してください。

⚠警告　死亡や重傷を負うおそれがある内容を示しています。

禁止

内部に異物を入れたり、端子部に金属類をショートさせない。 ➤ 火災 感電 けが

雷が鳴っているときには電源プラグや機器に触れない。 ➤ 感電

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 ➤ 感電

ぬらさない。 ➤ 火災 感電 やけど

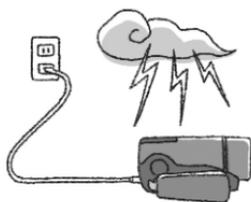
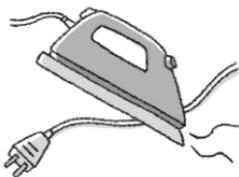
降雨降雪時、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用はとくに気をつける。

液もれしたバッテリーは使用しない。 ➤ 皮膚の障害 失明 発火

液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐに医師に相談。

分解や改造をしない。 ➤ 発熱 火災 感電 けが

強い衝撃や振動を与えない。 ➤ 火災 やけど けが

特に、液晶画面やレンズは割れるとけがの原因。

電源コードについてつぎのことを守る。
- 傷つけない ● 加工しない
- 無理に曲げない ● 引っ張らない
- 熱機具に近付けない ● 加熱しない
- 重いものを載せない ➤ 火災 感電

バッテリーやコイン型リチウム電池を熱しない、火中投入しない。
➤ やけど けが

バッテリー端子部に金属のキーホルダーや
ヘアピンなどを接触させない。➤ やけど けが

ショートして、高熱や液漏れの恐れあり。

充電中は長時間にわたる接触をしない。➤ 低温やけど

海外旅行者用の電子式変圧器や、航空機・船舶・DC/ACコンバーターなどの電源につながない。表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。➤ 火災 感電 けが

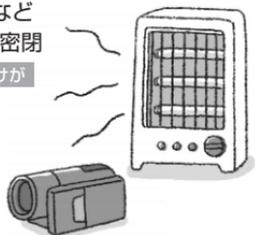
油煙・ほこり・砂などの多い場所や、風呂場など湿度の高い場所で使用・保管しない。➤ 火災 感電 やけど

内部にほこりや水などが入る恐れあり。

直射日光下、ストーブ・照明器具のそばなど60℃以上になる高温の場所や、炎天下の密閉された車中に置かない。➤ 火災 やけど けが

発熱や破裂の恐れあり。

不安定な場所に置かない。➤ けが

落下、転倒の恐れあり。

指定された機器を使う。➤ 火災 感電 けが

禁止

乳幼児の手の届くところに置かない。
➤ 感電 けが

コイン型リチウム電池を乳幼児の手の届くところに置かない。➤ けが
誤飲した場合はすぐに医師に相談する。

運転中に使用しない。➤ 交通事故

強制

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。➤ 火災

電源プラグは根元まで確実に差し込む。
➤ 火災 感電

コンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜く。➤ 火災 感電

撮影しているときは、周囲の状況に注意する。➤ けが 交通事故

⚠注意 傷害、物的損害を負うおそれがある内容を示しています。

禁止

コイン型リチウム電池を金属ピンセットなどでつかまない。➤ やけど
発熱の恐れあり。

ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。➤ 火災
内部に熱がこもる恐れあり。

フラッシュやミニビデオライトを目に近づけて発光しない。
➤ けが
目を痛める恐れあり。特に、乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。

車の運転者に向けてフラッシュやミニビデオライトを使用しない。➤ 交通事故

フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない。➤ やけど

コード類は、つまづかないように配置する。➤ けが

足を引っ掛けて転倒したり、製品が落下する恐れあり。

強制

バッテリー、ショルダーストラップ、グリップベルトなどは脱落しないように確実に取りつける。➤ けが

バッテリーやテレコンバーター、ワイドコンバーターなどを取りはずすときは、落ちないように手をそえる。➤ けが

飛行機内で使用する場合は、乗務員の指示に従う。

機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与える恐れ。

使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。➤ 火災

注意

なるべくビデオカメラを固定して撮影する。

撮影時に不用意にビデオカメラを揺らしたり、素早いズームを多用したりすると、再生時に乗り物酔いのような症状を起こす恐れがあります。その場合はすぐに再生を中止し、休息を取って目を休めてください。

取り扱い上のご注意

ここでは本機やバッテリーとカードを取り扱うときに注意していただきたいことを説明しています。

■ ビデオカメラ本体

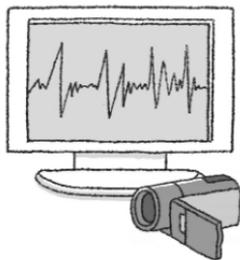
データはバックアップする

故障などに備えて、撮影した動画や静止画はパソコンやDVD、ビデオ機器などにバックアップしてください。データ消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ･砂･水･泥･塩分の多い場所で使用･保管しないでください。本機は防水･防塵構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。

テレビの上などで使わない

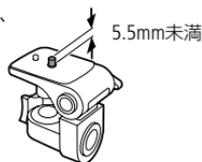
プラズマテレビや携帯電話の近くなど、電磁波の出る場所で使うと映像や音声が乱れることがあります。

太陽にレンズを向けない

太陽や強いライトなどにレンズを向けると内部の部品が溶けることがあります。

液晶画面を. . .

つかんでもちあげない ➔ 液晶画面の接合部が破損することがあります。
無理に閉じない ➔ 正しい位置に戻してから閉じないと破損することがあります。

ネジの長い三脚は使わない

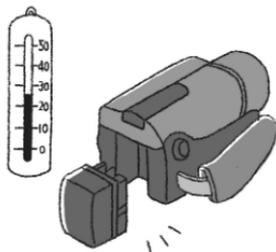
取り付けネジの長さが5.5mm以上の三脚を取り付けると、本体を破損することがあります。

端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子(充電器の端子)の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

使用時間を長くするコツ

こまめに電源を切り、10℃～30℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

長い間保管するとき

- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取りはずし、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを取り替えてください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。

正しく残量表示されない場合は

バッテリーをフル充電してください。ただしバッテリーを高温下で長時間使ったり、フル充電後に放置したりすると、正しく表示されないことがあります。使用回数が多いバッテリーも正しく表示されない場合があります。なお、表示は目安としてご使用ください。

インテリジェントシステム非対応のバッテリーについて

- インテリジェントシステム(📖 159)に対応していないバッテリーを本機やバッテリーチャージャーCG-800(別売)に取り付けて、充電することはできません。
- インテリジェントシステムに対応していないバッテリーを本機に取り付けて使用した場合、バッテリー残量は表示されません。

■ カード

データはバックアップする

静電気、カードの故障などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

端子に触れない

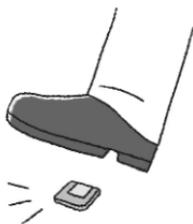
汚れが付着し、接触不良の原因となります。

高温・多湿の場所に放置しない

磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

ていねいに扱う

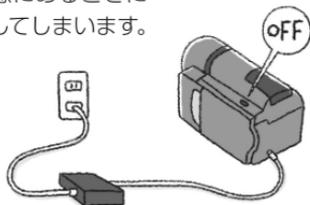
落とす、濡らす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。

シールを貼らない

カード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまる恐れがあります。

■ 充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機が使用状態にあるときに充電されるため、約3ヶ月使わないと完全に放電してしまいます。このときはつぎのようにして充電してください。

充電のしかた（所要時間：24時間）

① 電源ボタンをOFFにする
② 本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐ

■ その他のご注意

個人情報の流出に注意（譲渡・廃棄するときは）

内蔵メモリーやカードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。

譲渡するときは

一度内蔵メモリーの完全初期化（📖 29）を行った後、本機を箱などで覆って最後まで撮影し、再度完全初期化を行います。これによって、以前に記録されていたデータの復元を困難にすることができます。

破棄するときは

内蔵メモリーやカードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

結露について

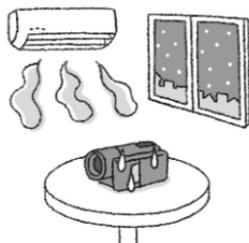
室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態で使うと故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

温度差のある場所へ移動するときは

カードを取り出し、本機をビニール袋で密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。

■ コイン型リチウム電池（CR2025）

コイン型リチウム電池はリモコンに使用されます。捨てるときは、燃えないゴミとして処理してください（地域によって異なりますので指示に従ってください）。

- ○ この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。
- ○ リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- ○ 交換後不要になった電池、及び使用済み製品から取り外した電池のリサイクルに関しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
- ○ リサイクルに関するお問い合わせ先
  - ・ 製品、リチウム電池をご購入いただいた販売店
  - ・ 有限責任中間法人　JBRC
    ホームページ　http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
  - ・ キヤノン/キヤノンマーケティングジャパン
    キヤノンサポートページ　canon.jp/support

使ったあとはこまめに

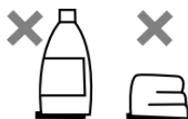
日常のお手入れ

レンズ

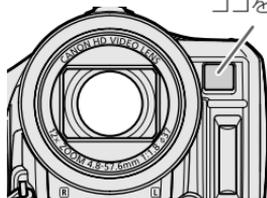
ブロアでゴミやホコリを取ったら、市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。

本体がよごれたときは

柔らかい布で拭こう

- 乾いた布で軽く拭いてください。
- 化学ぞうきんやシンナーは表面加工を傷めますので使わないでください。

ハイスピードAFセンサー

市販の眼鏡クリーナ（布製）で拭きます。

ココを拭く

液晶画面

市販の眼鏡クリーナ（布製）で拭きます。水滴が付着しているときは柔らかい布で拭き取ります。

自動でピントが合わない？

レンズやハイスピードAFセンサーが汚れていると自動でピントが合わなくなることがあります。

海外で使う

海外で使用するときの便利機能やマメ知識です。

■ 充電する

海外でも付属のコンパクトパワーアダプター(AC100～240V 50/60Hzまでの電源に対応)を使ってそのまま充電できます。コンセントの形が異なる国では、変換プラグを使用してください。

コンパクトパワーアダプターを変圧器に接続しないでください。故障するおそれがあります。

国や地域によって変換プラグが異なります

タイプ	A	B	BF	C	O
コンセントの形状					
変換プラグ	不要です				

●北米

アメリカ合衆国	A
カナダ	A

●ヨーロッパ

アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B. BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A. C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B. C
ポルトガル	B. C
ルーマニア	C

●アジア

インド	B. C. BF
インドネシア	C
シンガポール	B. BF
スリランカ	B. C. BF
タイ	A. BF. C
大韓民国	A. C
中華人民共和国	A. B. BF. C. O
ネパール	C
パキスタン	B. C
バングラデシュ	C
フィリピン	A. BF. O
ベトナム	A. C
香港特別行政区	B. BF
マカオ特別行政区	B. C
マレーシア	B. BF. C

●オセアニア

オーストラリア	O
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	O
ニュージーランド	O
フィジー	O

●中南米

アルゼンチン	BF. C. O
コロンビア	A
ジャマイカ	A
チリ	B. C
ハイチ	A
パナマ	A
バハマ	A
プエルトリコ	A
ブラジル	A. C
ベネズエラ	A
ペルー	A. C
メキシコ	A

●中近東

イスラエル	C
イラン	C
クウェート	B. C
ヨルダン	B. BF

●アフリカ

アルジェリア	A. B.BF. C
エジプト	B. BF. C
カナリア諸島	C
ギニア	C
ケニア	B. C
ザンビア	B. BF
タンザニア	B. BF
南アフリカ共和国	B. C. BF
モザンビーク	C
モロッコ	C

■ テレビで見る

以下の国や地域では、本機をテレビに接続するとそのまま映像を見ることができます。

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- 韓国
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- ジャマイカ
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバゴ
- トンガ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- ボリビア
- ミャンマー
- メキシコ

（NTSC方式を採用している国や地域　－NHK放送文化研究所発行「世界の放送2007」による－）

■ 旅行先の日時に合わせる

2つの地域の日時を登録できるため、旅行先の日時を設定しておくと、撮影した映像に現地の日時を記録できます。

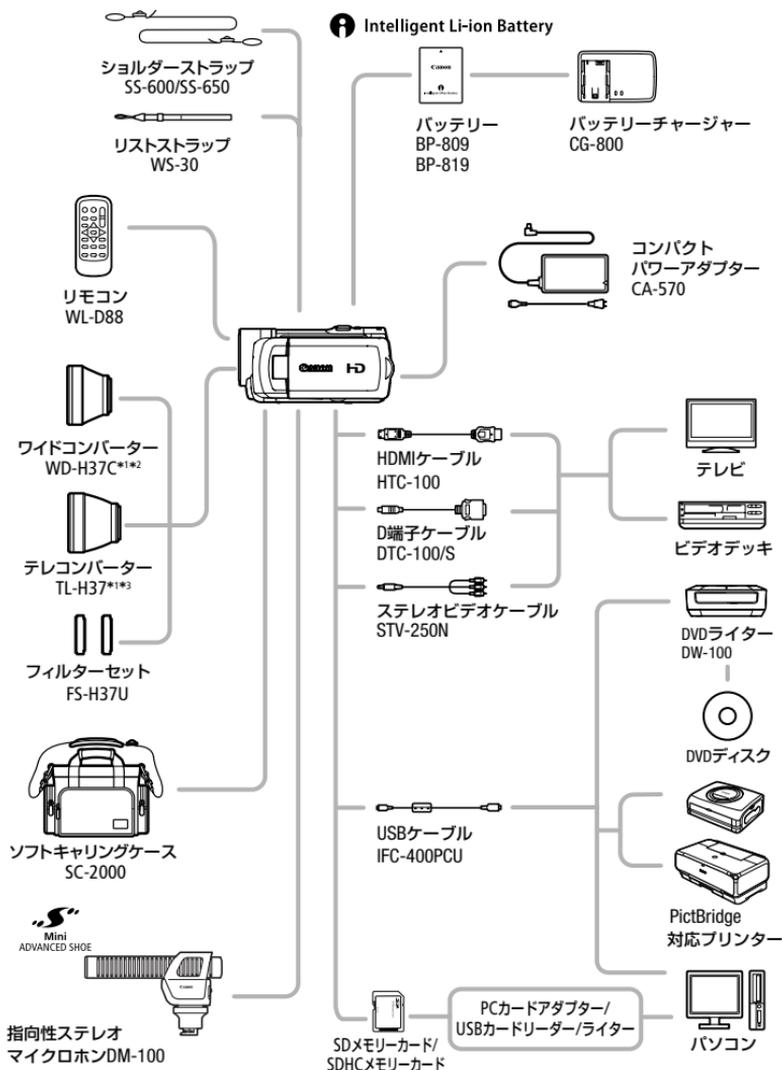
1. 「時計を合わせる」（📖 24）の操作1～3②までを行う。
2. ジョイスティックを上下に押して、✈ の項目を選ぶ。
3. ジョイスティックを左右に押して、旅行先を選ぶ→ SET を押す。
・ 旅先がサマータイムの場合、☀ が表示されている項目を選ぶ。

4. 「時計を合わせる」（📖 24）の操作4～5を行う。

海外旅行から帰ってきたら
1. 上記の操作2でジョイスティックを上下に押して、🏠 の項目を選ぶ。
2. FUNC.ボタンを押す。

アクセサリー紹介

本機の付属品または別売品について紹介しています。

ふろく

＊1 本機にワイドコンバーター、テレコンバーターを取り付けて、ミニビデオライトやフラッシュを使用すると影が出ることがあります。
＊2 本機にワイドコンバーターを取り付けて4:3の静止画を撮影する場合、ズームの位置によっては、ワイドコンバーターの枠が写りこむことがあります。
＊3 テレコンバーターを使用した場合、ピントの合う距離はズームのT端で約3mとなります。

ご注意

- **アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。**
  本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
  なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。
- 従来の「アドバンストアクセサリーシュー」対応のアクセサリーは、本機の「ミニアドバンストシュー」には取り付けられません。本機には、Mini ADVANCED SHOE ロゴ表記があるミニアドバンストシュー対応アクセサリーをご利用ください。

MEMO

インテリジェントリチウムイオンバッテリーについて

バッテリーパックBP-809 / BP-819は、ビデオカメラと通信することにより、バッテリー残量を分単位で確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリーです。インテリジェントシステムに対応したビデオカメラかバッテリーチャージャーCG-800（別売）でのみ使用/充電できます。

このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

FUNC.メニューの紹介

設定できる機能は、モードダイヤルの位置により異なります。ご購入時には、太文字の内容に設定されています。各機能の詳細は、参照ページをご覧ください。

■ 撮影時に使うメニュー

機能	設定内容			
撮影モード	**P**（プログラムAE）、**Tv**（シャッター優先AE）、**Av**（絞り優先AE）	●	●	52
	シネマモード	●		49
	SCN（**ポートレート**、スポーツ、ナイト、スノー、ビーチ、夕焼け、スポットライト、打上げ花火）	●	●	50
測光	**評価測光**、中央部重点平均測光、スポット測光		●	97
ホワイトバランス	AWB **オート**、太陽光、日陰、くもり、電球、蛍光灯、蛍光灯H、セット	●	●	58
画質効果	**画質効果切**、くっきりカラー、すっきりカラー、ソフト、美肌、カスタム	●	●	60
D.エフェクト設定	**D.エフェクト切**、F1 オートフェード、F2 ワイプ、E1 シロクロ、E2 セピア、E3 アート	●		61
	D.エフェクト切、E1 シロクロ、E2 セピア		●	
ドライブモード	**単写**、連写、高速連写、AEB		●	94
録画モード	FXP 高画質モード17Mbps、XP+ 高画質モード12Mbps、**SP 標準モード**7Mbps、LP 長時間モード5Mbps	●		35
静止画記録	**静止画記録切**、LW 1920×1080、SW 848×480	●		96
	スーパーファイン、**ファイン**、ノーマル	●		
静止画サイズ/画質	LW 1920×1080、**L 2048×1536**、M 1440×1080、S 640×480		●	86
	スーパーファイン、**ファイン**、ノーマル		●	

■ 再生時に使うメニュー

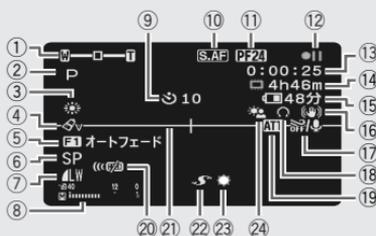
機能	設定内容	動画	静止画	参照ページ
コピー HF10	オリジナルのとき： 全シーン、この日の全シーン、1シーン、キャンセル	●		82
	プレイリストのとき： —	●		82
	静止画インデックス画面のとき： 全ての静止画、1枚、キャンセル		●	104
	静止画1枚表示画面のとき： —		●	104
プレイリスト追加 *1	この日の全シーン、1シーン、キャンセル	●		79
移動 *2	—	●		81
消去	この日の全シーン*1、1シーン*1、キャンセル*1	●		44
日付選択 *1	—	●		41
画像プロテクト	—		●	103
印刷指定	0～99枚		●	112
送信指定	—		●	127

*1 オリジナルのときのみ
*2 プレイリストのときのみ

- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。
- FUNC.ボタンを押すと、メニューが終了します。

画面の見かた

撮影中や再生中に表示される情報です。■内の数字は参照ページです。

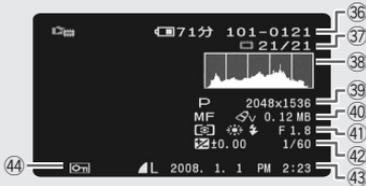
■撮影のときの画面

静止画のとき

① ズーム 34 、露出 56
② 撮影モード 50
③ ホワイトバランス 58
④ 画質効果 60
⑤ デジタルエフェクト 61
⑥ 録画モード 35
⑦ 静止画画質/サイズ 86 96
⑧ レベルメーター 64
⑨ セルフタイマー 55
⑩ ハイスピードAF 71
⑪ フレームレート 72
⑫ 撮影状況 163
⑬ 撮影時間（時:分:秒）
⑭ 撮影可能時間 163
⑮ バッテリー残量の目安 163
⑯ 手ぶれ補正 72
⑰ ウィンドカット 73
⑱ ヘッドホン 66
⑲ マイクATT 73
⑳ リモコンセンサー 76
㉑ マーカー 74
㉒ ミニアドバンストシュー 68
㉓ ミニビデオライト 54
㉔ 逆光補正 56
㉕ 測光 97
㉖ ドライブモード 94
㉗ 静止画の記録可能枚数 163
㉘ AF枠 71
㉙ 手ぶれ警告 72
㉚ ピント・露出の固定状態 84
㉛ フラッシュ 92

■再生のときの画面

動画のとき

静止画のとき

㉜ 再生状況
㉝ 再生時間（時:分:秒）
㉞ 再生シーン番号
㉟ データコード 63
㊱ 静止画番号 76
㊲ 表示枚数/全枚数
㊳ ヒストグラム 99
㊴ 撮影モード 50 /サイズ 86
㊵ フォーカス 57 /画質効果 60 / データ量
㊶ 測光 97 /ホワイトバランス 58 / フラッシュ 92 /しぼり数値 52
㊷ 露出 56 /シャッタースピード 52
㊸ 静止画画質/サイズ 86 /日時 24
㊹ 画像プロテクト

⑫ 撮影状況/㉜ 再生状況

●：撮影（録画）　●❚❚：撮影一時停止　▶：再生　❚❚：再生一時停止　▶▶：早送り　◀◀：早戻し
◀❚/❚▶：スロー再生　❚❚▶：コマ送り　◀❚❚：コマ戻し

⑭ 撮影可能時間

メモリーに空きがなくなると、「 END*」または「 END」が点灯し、停止します（*HF10のみ）。

⑮ バッテリー残量の目安

バッテリーの残量の目安を、電池マークと時間（分）で表示します。残量の割合（100%、75%、50%、25%、0%）を電池マークで、使用（撮影または再生）可能な時間を分で表示します。本機やバッテリーの状態によっては、実際のバッテリー残量と表示内容が一致しない場合があります。

㉗ 静止画の記録可能枚数

枚数の緑色表示は残り6枚以上、黄色表示は残り1～5枚、赤色表示は0枚を示します（ただし、再生時はすべて緑色表示）。記録可能枚数は記録時の状況により異なることがあります。記録しても枚数表示が減らなかったり、一回の記録で2枚減ることがあります。

主な仕様

iVIS HF10/HF100 システム	
内蔵メモリー/カード記録	動画： AVCHD規格 映像圧縮方法：MPEG4-AVC/H.264 音声圧縮方法：Dolby Digital 2ch 記録サイズ：1920×1080、1440×1080 静止画：DCF準拠、Exif Ver2.2準拠、DPOF対応 静止画圧縮方法：JPEG（スーパーファイン、ファイン、ノーマル）
信号方式	NTSC方式準拠、1080/60i方式
記録メディア	HF10 内蔵メモリー（容量：16GB）、SD/SDHCメモリーカード HF100 SD/SDHCメモリーカード
録画/再生時間	内蔵メモリー HF10（FXP、XP+、SP、LP）： 約2時間5分、約2時間50分、約4時間45分、約6時間5分 4GBメモリーカード（FXP、XP+、SP、LP）： 約30分、約40分、約1時間10分、約1時間30分
撮像素子	1/3.2型CMOS、総画素数331万画素 有効画素 動画：約207万画素 静止画（16:9）：約207万画素 静止画（4:3）：約276万画素
液晶画面	2.7型TFTワイドカラー液晶（約21.1万画素）
マイク	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
レンズ	f=4.8－57.6mm F=1.8－3.0 光学12倍ズーム 35mmフィルム換算時の焦点距離 動画：約42.9 - 514.8mm、 静止画（16:9）：約42.9 - 514.8mm 静止画（4:3）：約39.3 - 471.6mm
レンズ構成	9群11枚、非球面レンズ2枚使用
焦点調整	TTL自動焦点（TTL＋外部測距：ハイスピードAF選択時）、 マニュアル調整可
フィルター径	37mm
最短撮影距離	ワイド端1cm、ズーム全域1m
色温度切り換え	フルオート（セット、太陽光、日陰、くもり、電球、蛍光灯、蛍光灯H 付）
最低被写体照度	0.2ルクス（ナイト（SCN）、シャッタースピード1/2秒時） 3.0ルクス（P（プログラムAE）モード（オートスローシャッターオン）、シャッタースピード1/30秒時）
推奨被写体照度	100ルクス以上
手ぶれ補正機能	光学式（シフト方式）
静止画記録サイズ	静止画：2048×1536、1920×1080、1440×1080、640×480 同時記録：1920×1080、848×480

＊ メニューの「フレームレート」を「PF24」に設定しているときは、24コマ/秒で撮影し、60iに変換して記録します。（「PF30」のときは、30コマ/秒で撮影し、60iに変換して記録します。）

入・出力端子（レベル/インピーダンス）	
映像/音声出力端子 （AV端子）	Φ3.5mmステレオミニジャック、1Vp-p/75Ω -10dBv（47kΩ負荷時/3kΩ以下）
USB端子	mini-B、USB2.0 Hi-Speed
コンポーネント端子 （特殊D端子）	Y：1Vp-p、75Ω PB/PR.CB/CR：±350mVp-p、75Ω D3（1080i）/D1（480i）対応/出力のみ
HDMIミニ出力端子	タイプC（19ピン）/出力のみ
ヘッドホン端子	Φ3.5mmステレオミニジャック（AV端子兼用）
外部マイク入力端子	Φ3.5mmステレオミニジャック、-57dBV（600Ωマイク使用時）/5kΩ

電源その他	
電源電圧	DC7.4V（バッテリーパック）、DC8.4V（DCIN）
消費電力 （SPモード、AF合焦時）	約3.9W（LCD明るさ標準、内蔵メモリーに記録中） HF10 約4.0W（LCD明るさ標準、メモリーカードに記録中）
動作温度	0℃～＋40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約73×64×129mm（グリップベルトを含まず）
撮影時総質量	約430g（バッテリーパックBP-809、SDメモリーカード含む）
本体質量	約380g

コンパクトパワーアダプター　CA-570	
電源	AC 100V-240V、50/60Hz
出力/消費電力	公称DC8.4V、1.5A/29VA（100V）～39VA（240V）
使用温度	0℃～＋40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約52×29×90mm
本体質量	約135g

バッテリーパック　BP-809	
使用電池	リチウムイオン（インテリジェントリチウムイオンバッテリー）
使用温度	0℃～＋40℃
公称電圧	DC7.4V
容量	890mAh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約30.7×27.5×40.2mm
質量	約47g

付属のバッテリーBP-809と別売のBP-819をフル充電したときの使用時間の目安は、次のとおりです。

内蔵メモリーに記録時 HF10

録画モード		FXP	XP+	SP	LP
連続撮影時間	BP-809	1時間20分	1時間30分	1時間30分	1時間30分
	BP-819	2時間50分	3時間	3時間5分	3時間5分
実撮影時間*	BP-809	50分	55分	55分	55分
	BP-819	1時間45分	1時間55分	1時間55分	1時間55分
再生時間	BP-809	1時間55分	2時間	2時間	2時間
	BP-819	3時間55分	4時間	4時間5分	4時間5分

メモリーカードに記録時 HF10 HF100

録画モード		FXP	XP+	SP	LP
連続撮影時間	BP-809	1時間20分	1時間30分	1時間30分	1時間30分
	BP-819	2時間45分	3時間	3時間	3時間
実撮影時間*	BP-809	50分	55分	55分	55分
	BP-819	1時間45分	1時間50分	1時間50分	1時間50分
再生時間	BP-809	1時間50分	1時間55分	1時間55分	1時間55分
	BP-819	3時間45分	3時間50分	3時間55分	3時間55分

* 実撮影時間とは撮影、撮影一時停止、電源の入/切、ズームなどの操作を繰り返したときの撮影時間です。
* 液晶画面を明るくしていると、バッテリー使用時間が少し短くなることがあります。
* 低温下で使用すると、使用時間が短くなります。

バッテリーは予定撮影時間の2〜3倍分をご用意ください

ビデオカメラの消費電力はズームなどの操作によって変化します。そのため、上記の使用時間より短くなることがあります。

Full HD 1080について

Full HD 1080とは垂直画素（走査線）数1080画素（本）のHD（High Definition）映像に対応しているキヤノン製ビデオカメラを示しています。

iVIS HF10/HF100は、DCFに準拠しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。
iVIS HF10/HF100は、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Printは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいな印刷出力が得られます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

さくいん

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

そのほか

商標について

- SDHCロゴは商標です。
- SDロゴは商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- "AVCHD"および"AVCHD"ロゴは松下電器産業株式会社とソニー株式会社の商標です。
- DCFロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

MPEG-4使用許諾について

"This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard."

保証書とアフターサービス

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。

アフターサービス

製品の保証について

- 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、本保証書を製品に添付のうえ弊社修理受付窓口、またはお買い上げ店までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。また、お買い上げ店と弊社間の運賃諸掛りにつきましても、一部ご負担いただく場合があります。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害（録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存･読み出しができないことによって発生した損害等）については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承願います。

修理を依頼されるときは

- 故障内容を明確にご指示ください。また、修理品を送付される場合は、十分な梱包でお送りください。

補修用性能部品について

- ビデオカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後8年です。従って、期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と、期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判断につきましては弊社またはお買い上げ店にお問い合わせください。

修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

修理について

■ 修理に出すまえに

- 修理内容によっては、内蔵メモリーの初期化または交換が必要になることがあります。その場合、メモリー内のデータはすべて消去されますので、修理に出される前に、データをバックアップしてください。なお、修理によってデータが消去された場合の補償についてはご容赦ください。
- 修理の際、不具合症状の再現・確認のために、必要最小限の範囲でメモリー内のデータを確認させていただくことがあります。ただし、データを弊社が複製・保存することはありません。

■ 修理のお問い合わせは

修理受付センター

050-555-99077（全国共通）

平日 9:00〜18:00
日曜日、祝祭日、年末年始、弊社休業日はお休みさせていただきます。

電話番号はよくご確認の上、おかけ間違いのないようにお願いいたします。

- 故障状態や動作の不具合を確認させていただき、その上で修理方法のご案内をいたします。なお、故障状態のほかに、ご購入年月日と型名「iVIS HF10」または「iVIS HF100」であることをお伝えください。
- 修理を承る窓口（サービスセンター、修理センター、QRセンター）をご案内いたします。
- 宅配便による修理品の発送、または、弊社によるお引き取り、お届けについてご案内いたします。

電話番号が050から始まるIP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。このときは、お手数ですがNTTの固定電話からおかけ直しいただくようお願いいたします。

修理窓口

札 幌サービスセンター	〒060-0807	北海道札幌市北区北7条西1-1-2 SE山京ビル1F
仙 台QRセンター	〒980-0803	宮城県仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビルヂング1F
サービスセンター銀 座	〒104-0061	東京都中央区銀座3-9-7 トレランス銀座ビルディング2F
新 宿QRセンター	〒163-0401	東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル1F
横 浜QRセンター	〒220-0004	神奈川県横浜市西区北幸2-6-26 HI 横浜ビル2F
名古屋QRセンター	〒461-0005	愛知県名古屋市東区東桜2-2-1 高岳パークビル1F
大阪QRセンター	〒530-0005	大阪府大阪市北区中之島6-1-21 キヤノンビジネスサポート中之島ビル2F
サービスセンター梅 田	〒530-0001	大阪府大阪市北区梅田3-3-10 梅田ダイビルB1F
広 島サービスセンター	〒730-0051	広島県広島市中区大手町3-7-5 広島パークビルヂング1F
福 岡QRセンター	〒812-0017	福岡県福岡市博多区美野島1-2-1 キヤノンMJ福岡ビル1F
東日本修理センター	〒261-0023	千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-2 キヤノンMJ幕張事業所1F

休業日：銀座、新宿、梅田（日曜日、祝祭日）／その他（土・日曜日、祝祭日）
営業時間：銀座 10:00〜19:00／新宿、梅田 10:00〜18:00／その他 9:00〜17:30

※ 所在地は変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

製品の使いかたがわからないときは

キヤノンマーケティングジャパン お客様相談センター
050-555-90003（全国共通）
平日 9:00～20:00 / 土日祝日* 10:00～17:00
*1月1日～1月3日を除く

※上記番号をご利用いただけない方は**043-211-9394**をご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。

デジタルビデオカメラホームページ

最新の情報が掲載されておりますので、ぜひお立ち寄りください。

■ デジタルビデオカメラ製品情報
http://canon.jp/ivis

■ キヤノン サポートページ
http://canon.jp/support

■ CANON iMAGE GATEWAY
http://www.imagegateway.net/

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

PUB. DIJ-282B

本書の記載内容は2008年1月現在です。製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。